

2020 年度日本建築学会大会（関東）
学術講演会研究発表梗概
応募要領
会場：千葉大学
期日：2020 年 9 月 8 日（火）～10 日（木）

2020 年度日本建築学会大会（関東）は、2020 年 9 月 8 日（火）から 10 日（木）の 3 日間、千葉大学西千葉キャンパス（千葉市稲毛区弥生町 1-33）を主会場として開催します。2020 年度大会の学術講演会研究発表梗概を下記の要領で募集いたしますので、ふるってご応募ください。

応募にあたっては、下記事項に十分ご留意のうえご応募ください。

- 1) 講演発表は正会員（個人）・準会員・名誉会員に限ります。
- 2) 学術講演会および建築デザイン発表会において、それぞれ 1 題（計 2 題）の講演発表が可能です。応募規程「3. 発表者の権利・義務」「9. 発表登録費」をご覧ください。
- 3) 講演発表者もしくは共同発表者に 2019 年度会費未納者、2007 年度以降の大会発表登録費未納者、2019 年度論文予約購読費未納者がいる場合は応募できません。
- 4) 講演発表者ならびに共同発表者は、発表登録費（表-1 参照）を納入しなければなりません（請求書を 6 月中旬ごろお送りします）。ただし、論文予約会員、名誉会員は発表登録費を免除します。
- 5) 大会に参加する場合は発表登録費とは別に大会参加費が必要になります。
- 6) 代理の講演発表は一切認められていません。ただし、学術講演会、建築デザイン発表会の両方に投稿し、かつ相互の発表時間帯が重なった場合（半日単位）には、学術講演会の講演発表を行うこととし、当該の建築デザイン発表に限って共同発表者による代理の講演発表を認めます。
- 7) 学術講演会は、公開の場で発表しそれが議論されることを目的としていますので、欠席は発表とは認められません。
- 8) **応募締切：2020 年 4 月 7 日（火）12 時（厳守）（電子投稿のみ）**
- 9) 締切後の原稿の訂正は一切認められていません。
- 10) 原稿に不備がある場合は不採択となる場合があります。あらかじめ「8. 研究発表梗概の採否」で送信用の原稿をよく確認してください。
とくに「電子投稿用原稿作成上の注意」以外の環境で作成された PDF ファイルは図・表・写真等が正しく表示されない場合があります。原稿送信後は必ず「梗概集原稿の確認」画面から確認してください。
- 11) 「若手優秀発表賞」を設けて若手の学術講演を顕彰します。部門による実施の有無や審査方法については大会ホームページでお知らせします。
- 12) 本文の言語は、日本語のほか英語での投稿も受け付けます。英文の投稿サイトを設けますので、ふるってご応募ください。

電子投稿の大会コードは半角小文字で kanto です。

応募規程

1. **研究内容** 建築に関する学術・技術・芸術の最近の研究成果、または統計的資料、調査報告等で未発表のもの。ただし、「論文集」および本会「支部研究発表会」で発表したもの、ならびに他学会論文集等に発表したもので、特に建築に関連の深いものはこの限りでない。

2. **応募・発表資格** 研究発表者（講演発表者および共同発表者）の資格は次による。

2.1 講演発表者（○印）は次のいずれかの条件を備えた者とする。

- a. 論文予約会員となっている正会員（個人）・準会員
- b. 論文予約会員以外の正会員（個人）・準会員であって、発表登録費を期限までに納入した者
- c. 本会名誉会員
- d. 2019 年度会費未納者、2007 年度以降の大会発表登録費未納者、2019 年度論文予約購読費未納者は応募できない。

2.2 共同発表者（連名者）は次のいずれかの条件を備えた者とする。

- a. 論文予約会員となっている正会員（個人）・準会員
- b. 論文予約会員以外の正会員（個人）・準会員であって、発表登録費を期限までに納入した者
- c. 本会名誉会員
- d. 2019 年度会費未納者、2007 年度以降の大会発表登録費未納者、2019 年度論文予約購読費未納者は応募できない。
- e. 会員外であって、発表登録費を期限までに納入した者

3. **発表者の権利・義務** 研究発表者の権利・義務は次のとおりとする。

- a. 講演発表者（○印）は、大会学術講演会に出席し、一名 1 題、または建築デザイン発表会 1 題と併せて 2 題の講演発表を行うことができる。
- b. 講演発表者は必ず大会に参加し講演発表をしなければならない。共同発表者による代理の講演発表は認めない。
- c. ただし、学術講演会、建築デザイン発表会の両方に投稿し、かつ相互の発表時間帯が重なった場合（半日単位）は、学術講演会の講演発表を行うこととし、当該の建築デザイン発表に限って、代理の講演発表を認める。学術講演については代理の講演発表は認めない。
- d. c 項の場合、代理の講演発表は、正会員（個人）、準会員または名誉会員であり、当該建築デザイン発表の共同発表者に限って認める。該当する者がいない場合には、代理の講演発表を認めない。
- e. c 項の代理の講演発表は、一名 1 題を限度とする。
- f. c 項の「発表時間帯が重なった場合」とは、半日単位で発表時間が重なった場合を指す。
- g. 共同発表者（連名者）は、名を連ねる梗概の題数に制限はないが、講演発表を行うことはできない。
- h. 講演発表者の出席・欠席および c 項による代理の講演発表は学術推進委員会に報告され、記録として保存される。また、欠席および c 項による代理の講演発表の講演番号は本会ホームページにおいて公表される。

4. **応募方法** 大会ホームページからの応募（電子投稿）に限る。大会ホームページ上での発表申込および研究発表梗概原稿の送信をもって応募とする。

なお、締切後の原稿の訂正は一切認めない。

5. **発表部門** 発表部門は下記の 12 部門のいずれかとし、発表申込画面の所定欄に発表希望部門・細分類・細々分類を明示する（細分類・細々分類一覧は、大会ホームページに掲載する）。ただし、プログラム編成に際し、学術推進委員会において発表部門・細分類・細々分類を変更する場合がある。

- 1. 材料施工、2. 構造、3. 防火、4. 環境工学、5. 建築計画、6. 農村計画、7. 都市計画、8. 建築社会システム、9. 建築歴史・意匠（建築論を含む）、10. 海洋建築、11. 情報システム技術、13. 教育

6. **発表方法** 発表方法等の詳細については、学術推進委員会から連絡する。発表に際しては会場に備え付けられた機器（PC 用プロジェクター）以外の使用はできない。PC プロジェクターの使用条件や使用方法は後日「大会プログラム」および大会ホームページで公表する。

7. **応募期間**

2020 年 2 月 15 日（土）から 4 月 7 日（火）12 時（厳守）

提出先：<http://www.aij.or.jp/jpn/taikai2020/>

8. **研究発表梗概の採否** 研究発表梗概の採否は、学術推進委員会が決定する。下記条項等に照らし大会学術講演会発表梗概として不適当と認められるものは採択しない。不採択となった場合は 5 月 20 日までに本人に通知する。なお、提出された原稿は一切返却しない。

- a. 本文または図・表・写真等が著しく不十分または不完全なもの。
- b. 原稿執筆要領に示されている文字数の基準を大きく逸脱したもの。
- c. レイアウトが「原稿執筆要領」から著しく逸脱したもの。または pdf 変換時に崩れたもの。
- d. 同一または類似の研究発表がすでに行われているもの。ただし、既発表の研究内容を前進させたものはこの限りでない。
- e. 内容が商業宣伝に偏したもの（商品名の使用には注意すること）。
- f. 他者を誹謗中傷する内容を含むもの。
- g. その他、応募規程、執筆要領に反するもの。

9. **発表登録費** 発表登録費は表-1 による。ただし、留学生で会員の発表登録費は発表申込み時に申請があれば減額する。

表-1 発表登録費

	論文予約会員、名誉会員	正会員・準会員	留学生	会員外
1) 学術講演会で発表する者 ^{*1}	0 円	9,000 円	2,000 円	— (発表不可)
2) 建築デザイン発表会で発表する者 ^{*1}	0 円	9,000 円	2,000 円	— (発表不可)
3) 学術講演会／建築デザイン発表会の両方で発表する者 ^{*1}	0 円	13,500 円	3,000 円	— (発表不可)
4) 共同発表者（口頭発表を行わない連名者）	0 円	題数によらず 9,000 円	題数によらず 2,000 円	題数によらず 13,000 円

*1 発表は、学術講演会、建築デザイン発表会で各 1 題まで発表可能です（「3. 発表者の権利・義務」を参照）。

- a. 講演発表者ならびに共同発表者は、発表登録費（表-1 参照）を請求書に記載の期限までに納入すること。ただし、論文予約会員、名誉会員は、発表登録費を免除する。
- b. 共同発表の発表登録費は、題数によらず1題分とする。
- c. 講演発表者（○印）は発表者を代表して共同発表者の納入の義務を果たすものとし、全員の発表登録費の納入がない場合は、当該研究の講演発表ができない。
- d. 発表登録費未納者は、2021年度以降の学術講演会および建築デザイン発表会に応募できない。
10. **大会参加費** 大会に参加する者は前記「9. 発表登録費」とは別に大会参加費を納入するものとする。
大会参加費および事前納入手続きについては本会ホームページおよび「建築雑誌」4月号に掲載する。
11. **梗概集** 採択された研究発表梗概はDVD版大会梗概集（学術講演梗概と建築デザイン発表梗概を収録）に収録し、「大会学術講演梗概集」として頒布する。なお、発表登録費納入者にはDVD版梗概集を無償で送付する。
12. **著作権**
- (1) 著者は、掲載された研究発表梗概の著作権の使用を本会に委託する。ただし、本会は、第三者から文献等の複製・引用・転載に関する許諾の要請がある場合は、原著者に連絡し許諾の確認を行う。
- (2) 著者が、自分の梗概を自らの用途のために使用することについての制限はない。なお、掲載された梗概をそのまま他の著作物に転載する場合は、出版権に関わるので本会に申し出る。
- (3) 編集出版権は、本会に帰属する。
13. **電子形態による公開** 大会に発表された研究発表梗概は本会および本会が許諾したウェブサイトから全ページが公開される。
14. **講評** オーガナイズドセッションにあっては、大会終了後にセッション司会者による講評を本会ホームページに掲載する。

応募上の注意

1. **入会ならびに会員番号、大会用会員外登録番号の取得**
2020年度大会で研究発表するために新たに入会される方は、**応募時までに必ず入会手続きおよび入会金・会費の支払い手続きを済ませてください。**応募するためには研究発表者（会員外も含む）全員の会員番号または大会用会員外登録番号が必要ですので、次の方法により取得してください。
- 入会ならびに会員番号の取得：**本会ホームページ（<http://www.aij.or.jp/>）で入会手続きを行ってください。**入会金・会費の支払い手続きをされないと、入会手続きが完了しません。**
- ①インターネット経由で入会手続きを行う場合は、入会金・会費の支払い方法として「**口座振替を希望するとWeb上で会員番号を即時に取得できますが、「請求書払い」を希望すると入金後に会員番号が発行されますので、取得に10日間前後の時間がかかります。十分にご留意ください。**なお、正式な入会は理事会承認後になります。
- ②郵送またはFAXで入会手続きを行う場合は、入会申込書が事務局に到着後、**会員番号の取得に10日間前後の時間がかかりますので、できるだけインターネット経由で「口座振替」をご利用ください。**
- 大会用会員外登録番号の取得：**本会ホームページ（<http://www.aij.or.jp/jpn/taikai2020/>）で取得してください。

2. 発表登録費

- a. 講演発表者ならびに共同発表者は、発表登録費（表-1 参照）を請求書に記載の期限までに納入しなければなりません。ただし、論文予約会員、名誉会員は、発表登録費を免除します。
- b. 発表登録費は採択決定後、論文予約会員、名誉会員以外の方に請求書を送付しますので、請求書に記載の期限までに納入してください。
- c. 留学生の会員は、発表申込みの際「留学生」であることを明示してください。

3. 電子投稿

- a. 電子投稿による研究発表梗概原稿は Adobe Acrobat DC 以降（または同等品）を用いて変換した PDF ファイルのみとします。 b. 原稿の提出は大会ホームページからの応募（電子投稿）に限ります。メール添付や、CD-R、USB 等の郵送、持参は受け付けません。
- c. 原稿の PDF ファイルの大きさは **1MB 以内** とします。1MB を超えると受信いたしません。また、ファイルは一つとし、圧縮ツールによる圧縮やセキュリティ設定はしないでください。

4. オーガナイズドセッション

オーガナイズドセッションに採用された研究発表者も、この応募規程により研究発表梗概原稿を提出してください。

5. 発表部門別注意事項

a. 構造部門・環境工学部門

連続して複数応募する場合は、各編が独立した内容でなければなりません。

b. 建築計画部門

- ①連続して複数応募する場合は、各編が独立した内容でなければなりません。この場合、内容を適切に表したものを表題としてください。
- ②共通の総主題で通し番号のついた一連の研究は、同年度に3編以内とします。3編以内の一連の研究はまとめて発表できるようにプログラム編成時に配置しますが、3編を超えるものについては4編目以降を不採択としますので注意してください。

発表申込み入力要領

ホームページ上の発表申込画面の指示に従って入力してください。キーワードのないものは登録できませんので、必ず入力してください。

1. 全般的注意

和文はすべて JIS 第一水準、第二水準の漢字を使用してください。漢字の新旧字体が混合すると同一の論文、用語あるいは著者として検索できず欠落を生じるおそれがありますので注意してください。英文表記の際、大文字は文頭および固有名詞のみに用いてください。

2. 表題

和文・英文の表題をそれぞれ入力してください。

共通する総主題のもとに連続する数編を発表する場合、主題は個々の発表内容を表現するものとし、総主題にはその 1、その 2 などを付してください。記載する順番は、総主題、主題、副題の順とし、総主題を付ける場合、総主題と主題の間には「:」を挿入してください。

(例)

種々の摩擦材を用いた摩擦ダンパーの力学特性および制振効果
その2: 剛塑性履歴を有するダンパーの最適設計手法

(例)

これからのワークスタイルに対応した Active Design に関する研究
その7: 生理量と知的生産性の関係—研究概要、生理量分布
およびアンケート結果

3. 本文の言語

日本語または英語とします。

4. 和文著者名

姓・名前を/で区切って、姓・名の順に入力してください。

5. フリガナ

姓・名前を/で区切って、姓・名の順にカタカナで入力してください。

6. 英文著者名

姓・名前を/で区切って、姓・名の順にローマ字で入力してください。

7. 所属名称

発表時の所属名称を下記の要領で入力してください。所属には、部課名や肩書は入れないでください。

a. 機関名は特に指示のない限り省略しないでください。

(例)「東工大」とはせず、「東京工業大学」とする。

ただし、「株式会社」「財団法人」「Incorporated」「Limited」等は省略する。

(例)「株式会社日本建設」とはせず「日本建設」とする。

b. 所属が長い名称のときは、わかる範囲で部課名などを略称しても結構です。NTT など略称のほうがよく知られている場合は、略称でも結構です。

c. 著者の所属名称が欧文形のみの場合、所属機関の所在地原語で英文所属名称の欄のみ入力してください。

8. 希望発表部門・連続講演

a. 発表を希望する部門・細分類・細々分類を「細分類・細々分類一覧表」により入力してください。

b. 本年度連続原稿がある場合は以下のように明示してください。

2編のうちの第1編の場合 1/2

3編のうちの第2編の場合 2/3

それぞれの申込みに1編目の発表者の会員番号を明示してください。

9. キーワード

キーワードの選択にあたっては、単に表題中の語を再録するのではなく、その研究が検索されるうえで最も効果的と思われる語を、和文・英文とも6個以内を入力してください。

なお、キーワードとする用語は日本建築学会「学術用語集—建築学編」から選ぶことを基本としますが、適当な語がない場合はこの限りではありません。

10. 研究発表申込書の入力方法についての問合せ先

事務局事業グループ 電話 03-3456-2057 (直通)

E-mail: 2020kougai@aij.or.jp

原稿執筆要領

研究発表梗概原稿は、原稿執筆要領にしたがって執筆します。

書き方書式例を参照してください(大会ホームページに掲載)。

1. 用紙設定

白地のA4判2ページとする。横書き2段組を原則とし、ワープロソフト等で上マージン25mm、下マージン22mm、左右マージン15mm、1段を87mm(段の間隔6mm)、1ページあたり48行、1段あたり25文字を基準(文字の大きさ9.5ポイント相当)として設定する。なお、この基準から大きく逸脱した原稿は、執筆要領に反するものとして不採択となる場合がある。

2. 文字

和文はJIS第一水準、第二水準の漢字を使用する。本文書体は和文は明朝体、欧文はTimes New Romanを用いることが望ましい。

3. キーワード

研究発表申込画面に入力したものと同一和文キーワード3~6個を必ず記載する。用語は日本建築学会「学術用語集—建築学編」から選ぶことを基本とするが、適当な語がない場合はこの限りではない。

4. 記載方法

a. 1ページ目上段

- 1ページ目上段に表題、会員種別・発表者名、キーワードの順に記載する。
- 表題は第1行に、本文より大きな文字で書く。
- 会員種別・発表者名(連名の場合は講演発表者を筆頭に記し、氏名の前に○印をつける)は上段右側に寄せて書く。
- キーワードは上段左側に寄せて書き、キーワードと本文の間は1行あける。

b. 1ページ目下段(欧文表題・欧文発表者名)

- 記載欄と本文の間に罫線を引く。
- 欧文表題、欧文発表者名の順に記載する。
- 欧文表題は左側に、欧文発表者名は右側に寄せて書く。
- 欧文講演発表者名はローマ字で姓・名の順に記入し、姓はすべて大文字とし、名は頭文字のみ大文字とする。

c. 2ページ目下段(和文所属・欧文所属)

- 記載欄と本文の間に罫線を引く。
- 和文所属(・学位)、欧文所属(・学位)の順に記載する。
- 和文所属は左側に、欧文所属は右側に寄せて書く。
- 所属がない場合は“フリーランス”と表記すること。

5. 図・表・写真等

図・表・写真等は適当と思われる場所にレイアウトする。図・表・写真等は原稿に貼り付けた状態でPDF化し、別ファイルにはしない。

なお、図・表・写真等の引用・転載にあたっては、著者自身が原著者などの著作権所有者から許可を得ること。

6. テンプレート

Microsoft Word(Windows版、Mac版)、Adobe InDesign(Windows版、Mac版)のテンプレートを大会ホームページ上で提供するので、必要に応じて利用されたい。

電子投稿用原稿作成上の注意

1. ファイル形式

電子原稿はAdobe Readerで表示および印刷可能なPDF(Portable Document Format)ファイルで提出してください。

2. ファイルサイズ(容量)の制限

ファイルサイズは**1MB以内**とします。1MBを超えると受信い

たしません。またファイルは一つとし、圧縮ツールによる圧縮やセキュリティ設定はしないでください。

3. ファイル名について

必ず拡張子（.pdf）がついているファイルをお送りください。

4. 提出方法

提出方法は大会ホームページからの応募（電子投稿）に限ります。

5. 作成するアプリケーションと OS

原稿を作成するアプリケーションの制限はありません。OS は Windows 7 以上または Mac OS10.12 以上を推奨します。

6. PDF ファイルの作成方法

PDF ファイルは、原則として Acrobat DC 以降（または同等品）を用いて作成します。作成方法についてはソフトに付属のマニュアルまたはホームページ上の執筆要項をご覧ください。

Acrobat の詳細については<http://www.adobe.com/jp/> をご覧ください。

7. 使用できるフォントの制限

投稿された PDF ファイルは Windows または Mac 上で稼働する DVD に掲載されますので、原稿内に使用するフォントは以下に限定してください。

OS	Windows	Mac (OS10.12 以上)
日本語フォント	MS 明朝または MS ゴシック	MS 明朝、MS ゴシック、ヒラギノ
英字フォント	Arial, Century, Helvetica, Symbol, Times, Times New Roman	

※ どうしても他のフォントを利用したい場合は、PDF 作成時にフォントの埋込みを行ってください。

8. 色使い

本文の文字は黒色としますが、図・表・写真等については色使いの制限は特にありません。

9. 写真や画像などの解像度

写真や画像を含む場合、PDF 化することにより、出力品質が劣化することがあります。ファイルサイズ制限内で、PDF 化する際のジョブオプションの値を高くして作成してください。

10. 印刷の確認

作成した PDF ファイルは一度プリンターで印刷し、執筆者の意図どおり印刷されることを確認してください。

電子投稿要領

この投稿要領を作成した時点以降の最新情報や変更事項については随時大会ホームページ上に掲載します。実際に申し込み前に確認してください。

大会コードは半角小文字で kanto です。

大会ホームページ <http://www.aij.or.jp/jpn/taikai2020/>

1. 発表申込みの前に

講演発表者およびすべての共同発表者に会員番号または大会用会員外登録番号が必要です。入会予定の方で会員番号を未入手の方または会員外の方が共同発表者に含まれている場合は、ホームページで会員番号または大会用会員外登録番号を入手してから申し込んでください。

2. 発表申込み方法

- <http://www.aij.or.jp/jpn/taikai2020/> から研究発表梗概応募を選んでいただくと、電子投稿のトップメニューが表示されますので、“発表申込み”を選んでください。
- 大会コードおよび講演発表者情報を入力し、「次へ」をクリックしてください。

c. 登録画面が表示されますので、画面中の指示や例に従い、必要情報を入力します。

d. すべて入力したら、「次へ」をクリックします。ここまでの入力内容の確認画面が表示されます。修正がある場合は前の画面に戻って修正します。登録内容の確認・修正ができましたら、「登録」をクリックします。

※この画面ではまだ登録されていないので必ず「登録」をクリックしてください。

e. 登録が正常に受け付けられると、登録完了画面が表示され、「受付番号」と「パスワード」が発行されます。登録内容は電子メールでも配信されます。今後の登録内容の確認・修正やPDF送信等に必要ですので、他人に知られることのないよう厳重に管理してください。パスワードは英数半角文字で大文字と小文字の区別があります。

※電子メールの受信を必ず確認してください。電子メールが届かない場合は正常に登録されていない可能性があります。24 時間以内に電子メールが届かない場合は、ホームページ内にあるFAQをご確認ください。

<注意事項>

- 使用するブラウザは、Windows の場合は Internet Explorer 11.0 以降、Firefox 63 以降を利用してください。Windows XP で Internet Explorer をお使いの場合、画面が表示されません。別のブラウザを利用いただくか、Windows 7 以降のパソコンをご利用ください。
- 申込締切間際は、大変な混雑が予想されます。できるだけ早い時期の申し込みをお願いします。
- 会員番号および大会用会員外登録番号は、必須項目が入力されていない場合は発行されません。
- 連続講演の申込みも 1 件ごとに発表申込みが必要です。
- 携帯電話の電子メールアドレスの登録はご遠慮ください。後日、発表等に関する情報を送りますので、継続的に利用できる電子メールアドレスを登録してください。

3. 梗概集原稿（PDF ファイル）の送信

- 電子投稿の画面から“梗概集原稿送信”を選びます。
- 新規登録時と同様に大会コードと会員番号または大会用会員外登録番号を入力し、「次へ」をクリックします。
- 発表申込みで発行された受付番号とパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。
- 参照ボタンを使って、送信対象の PDF ファイルを指定し、送信ボタンをクリックしてください。
- 送信が正常に終了すると、受付終了画面が表示されると同時に PDF ファイル送信完了をお伝えする電子メールが配信されます。応募期間内であれば、同一手順で差し替えができます。

<注意事項>

- PDF ファイル送信は、必ず発表申込みの手続きを済ませてから行ってください。
- 1MB を超えるファイルは送信することができません。
- 1 件の発表申込みに対し、ファイル 1 件のみ送信できます。
- 必ず発表申込みに対応した PDF ファイルを送信してください。発表申込内容と異なる PDF が送信された場合は、申込みを取り消します。特に連続講演の

場合、発表申込みと合致するよう投稿時には十分ご注意ください。

- 5: ファイルを差し替えると、以前投稿したファイルはファイル名が異なっても自動的に削除されません。

4. 送信した PDF ファイルの確認

- 電子投稿の画面から“梗概集原稿の確認”を選びます。
- 新規登録時と同様に大会コードと会員番号または大会用会員外登録番号を入力し、「次へ」をクリックします。
- 発表申込みで発行された受付番号とパスワードを入力し、原稿確認ボタンをクリックします。
- 送信された PDF を確認することができます。
- ファイルを差し替える場合は新規送信と同一手順で行ってください。

5. 発表申込内容の確認・修正

登録済の発表申込内容は、応募期間内であれば確認・修正ができます。

- 電子投稿の画面から“確認・修正”を選択します。
- 新規登録時と同様に大会コードと会員番号または大会用会員外登録番号を入力し、「次へ」をクリックします。
- 新規登録時に発行された受付番号とパスワードを半角で入力し、「次へ」をクリックします。
- 登録されている内容が表示されます。修正する場合は下の修正ボタンをクリックします。
- 修正可能な画面に切り替わりますので、必要に応じて修正してください。修正した場合には下の「次へ」をクリックします。
- 再度確認画面が表示されます。確認後、下の「登録」をクリックしてください。ここで修正登録が完了します。修正登録後、再度メールが配信されます。

6. 発表申込みの取消し

登録済の発表申込内容は、応募期間内は取消しができます。

- 電子投稿の画面から“講演取消”を選択します。
- 新規登録時と同様に大会コードと会員番号または大会用会員外登録番号を入力し、「次へ」をクリックします。
- 新規登録時に発行された受付番号とパスワードを半角で入力し、「次へ」をクリックします。
- 登録されている内容が表示されます。取り消す場合は下の取消ボタンをクリックします。
- 取消完了画面が表示されます。取消処理後、再度メールが配信されます。

オーガナイズドセッション実施要領

大会における学術講演の活性化を図る手段として、大会ごとに各部門で特定のテーマを指定し、そのテーマに応募した原稿を審査し、その発表を行う特別のセッション（オーガナイズドセッション；OS）を実施します。

1. 応募方法

オーガナイズドセッションの応募者は講演発表者（○印）とします。通常の講演梗概と同程度の概要原稿（図・表・写真等を含む）の PDF ファイルを、期限までにホームページからご提出ください。

（注）概要原稿の提出方法は、電子投稿のみとなっておりますので、ご注意ください。概要原稿の体裁は問いませんが、できれば

通常の梗概原稿の体裁に合わせてください。

2. 概要原稿提出期限

2020年2月28日（金）17:00（厳守）

3. 提出先

ホームページ <http://www.ajj.or.jp/jpn/taikai2020/>

「オーガナイズドセッション申込み」を選び、画面の指示に従って必要事項を入力の上、原稿を提出してください。

4. 概要審査と完成原稿の提出・取扱い

- テーマを設定した調査研究専門委員会が、応募原稿の中からオーガナイズドセッションの講演梗概としてふさわしいものを審査し、その結果を応募者に通知します。
- 採択された概要原稿の応募者は、講演梗概用の原稿を4ページの講演梗概として改めてまとめ直したうえで、一般の講演梗概の応募期間内に提出してください（ファイルサイズ **2MB 以内**）。なお、概要採択後の講演発表者（○印）の変更は認められません。
- オーガナイズドセッションの講演梗概は、採択された部門の DVD 版梗概集に収録します。
- 発表時間は、一般の発表時間よりも長く（2倍程度）設定します。
- 採択され梗概集に掲載されたものは、「選抜梗概」と称します。
- 応募の少なかったテーマは実施しない場合があります。その場合は応募者に連絡をしますので、あらかじめ一般講演に応募してください。

5. 講評

大会終了後にセッション司会者による講評を本会ホームページに掲載します。

6. 実施部門とテーマ

構造部門

a. 植物構造オプト

建築構造を設計する際に、生体から学ぶというアプローチは従来よりあるが、細胞や生体が多様な環境因子に自律的に応答し成長していくメカニズムにまで踏み込んだ応用研究は少ない。そこで本 OS では、生きた植物の持つ自律的な適応機能から学び、建築構造に応用することを目的とした最新の研究等を募集する。新たな構造システムの探索を活性化するための活発な議論を行いたい。

防火部門

a. 上階延焼抑制を念頭に置いた内外装材の性能評価技術および試験方法

内装材料の性能評価技術、外装材料の性能評価技術、外装用難燃処理木材の促進劣化試験方法等、現在、様々な枠組みで国内でもすでに活発な学術的検討がなされている状況にある。

本 OS では、上階延焼抑制を念頭に置いた内外装材の性能評価について、実験、およびシミュレーション等を用いて解明することを試みた研究発表、ならびに性能評価を行うための試験法の構築に関わる研究発表を募集し、内外装材の火災安全性能について、活発な議論を行う。

環境工学部門

a. 光・視環境の提示手法

光環境のシミュレーション技術は高度に発達し、反射特性や配

光特性等のデータを準備すれば質感等を再現することが可能となりつつある。一方で、シミュレーション結果だけでなく、現実空間を撮影した静止画や動画を含め、どのような手法でそれらを提示するかということが大きな課題となっている。4K8K等の画像の高精細化、プロジェクターやディスプレイの高輝度化、全方位カメラやHMD等広範囲をカバーするデバイスの出現など、光環境の提示手法に関する技術は大きく変化している。本OSはこれらの背景を踏まえ、被験者実験やシミュレーション結果の再現性の検討のために提示装置を用いる研究者が一堂に会し、これらの問題を重点的に議論する場としたい。[光環境、環境心理生理]

b. 暑熱環境と人体熱ストレス評価

気候変動やヒートアイランド現象により都市を中心に高温・高湿度が進んでおり、熱中症発症者の増加にみられる、人体熱ストレスの増加が懸念される。暑熱環境に適応した建築・都市を創出していくためには、暑熱環境が人体に与える影響を評価する必要がある。そこで本OSでは、暑熱環境と人体生理・心理反応の評価に関する研究発表を広く募集し、研究の課題や今後の方向性について活発な議論を行いたい。[都市環境・都市設備、熱環境]

c. 音環境性能の基準・規準に関する最近の動向

建築物の音環境性能は、基準や規準等を用いて評価される。本会では『集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方』の出版、学校施設の音環境保全やスピーチプライバシーの評価に関する日本建築学会環境基準 AIJES の出版の準備を行っているところである。ISO規格においても建物の用途別の音環境性能に関する評価規準に関する議論が行われ、さらにはLEEDやWELLなどの建築環境総合評価システムにおいても音環境性能は評価されている。

本OSでは、音環境性能に関する基準・規準等の話題を提供していただき、現状の課題と今後の方向性について議論したい。[音環境]

d. これからのグレア評価、グレア制御をめざして

不快グレアは光環境の基本的要件であり研究の歴史も長い。しかし、近年LED照明の普及、各種昼光装置の開発、輝度画像および画像解析といった研究技術の進歩、制御（センサーや制御システム）の進歩などにより、従来よりも進んだ指標の開発、設計対応が求められている。本OSでは、新たなグレア評価、グレア制御を目指し、本質的な議論を行いたい。基礎的研究から実空間での問題などを扱う応用的研究を募る。[光環境]

e. ネット・ゼロ・ウォーター

日本において、水環境、節水技術、雨水活用などの「Net Zero Water Building」への取り組みや推進が、持続可能な社会への進展、建築における将来的な水環境のあり方に寄与する。また、台風、集中豪雨、地震等の災害が多い日本の実情では、インフラ途絶時の建物の生活用水の確保も急務となっている。

次世代型節水技術、水環境分野の省資源・省エネへの取り組み、ゼロウォータービルディング、グリーンインフラとしての雨水活用など、建築におけるネット・ゼロ・ウォーターをテーマとした研究成果・設計・社会的動向等の演題を募集する。[水環境]

f. Low-carbon affordable housing in the hot climates of developing countries

Today, most countries and cities with rapid population growth rates are located in the hot regions such as Asia and Africa. In these regions, particularly in the developing countries, housing backlog is often the most urgent issue, thus affordable houses are highly demanded. On the other hand, towards the Paris Agreement, now all the signatory parties, including developing countries, are required to declare their “nationally determined contributions” (NDCs) to put their best efforts to combat climate change for a sustainable low-carbon future. The developing countries are thus required to achieve “affordability” and “low-carbon” at the same time in their housing provisions. This organized session aims to accumulate the results of the latest studies, focusing especially on cooling techniques for the hot regions, that would contribute to achieve the above-mentioned goals. [環境設計]

g. 室内の温湿度環境と健康影響評価

低湿度環境下での皮膚や粘膜の乾燥、冬期のヒートショック、カビの発生、疾病発症の季節変動など、室内の温湿度が健康に関与していると思われる事象が存在する。また、これらについての研究が進められている。そこで本OSでは、フィールド調査、被験者実験、数値シミュレーションなど、温湿度環境の健康への影響に関連する研究発表を広く募集し、それらの関わりあいや今後の可能性等について活発な議論を行うこととしたい。[熱環境]

h. 熱性能評価とシミュレーション

シミュレーションツールの高度化や省エネルギー法改正の議論によって、竣工後の建物の性能評価がますます重要になってきている。そこで本OSでは設計時と竣工後の性能評価・比較、性能評価の手法、新しいデータを用いたシミュレーション等に関する研究発表を広く募集しそれらの関わりあいや今後の可能性等について活発な議論を行うこととしたい。[熱環境]

i. ヒューマンファクターによるデザイン・制御

快適な環境を実現しつつ、省エネを進めるためには、人が受け入れられる環境とはどのようなものか、また、人は環境に対してどのような生理的・心理的反応をするのかといった視点が重要である。このような考えをヒューマンファクターと呼ぶ。人の生理や心理のほか、温熱・気流に限らず、湿度・光・音を含むデザインや制御における試みについて、研究事例や実施例を広く募集し、ヒューマンファクターの考えに沿った現在の研究動向および設計・制御を考える。[建築設備]

j. 環境建築の新しい展開を目指して

「環境建築」というワードが登場して20年を迎え円熟期を迎えたと言ってもよい。次世代に向けて、視野の拡大、発想の転換、他分野の新技术の応用などを試み、環境建築の新しい展開を目指す時期になっている。本OSは、次世代に生きる環境建築の提案を、開発、設計、運用、実測、研究の各方面から頂き、その可能性、問題点を総合的に討議する機会としたい。特にAI、IoTなどビッグデータの活用方法、大規模シミュレーション解析、超高層環境建築、寒冷地・蒸暑地における環境建築などの斬新な提案を期待している。[建築設備]

建築計画部門

a. 超高齢長寿社会の住空間デザイン

この50年ほどの間、わが国の高齢化は他国に類を見ないスピ

ードで進み、「超高齢長寿社会」（超年齢に至っても依然として元気な高齢者が多い社会）に至った。こうした前人未踏の社会で、住空間は、いかにしたらより良く生きられるように人々を支援できるのか。このセッションでは、①新たなライフコースを生きる人々の、生活者としての像をリアルタイムで捉え、その可能性や課題を明らかにし、②「新時代」の生活を活力ある豊かなものにする、住空間デザインのための知見を多方面から集約し、活発な議論を展開したい。

都市計画部門

a. 都市・地域のサステナビリティを高めるための大学キャンパスの活用方策

都市や地域コミュニティなどの疲弊を食い止め、持続可能な都市環境をどうつくっていくのかは、特に地方都市において喫緊の課題となっている。その解決に向けた方策を考えるにあたって地域に大きな影響力を持つ大学キャンパスを活用しながら、大学と地域を連携、連動させながら課題解決の道を探るということが考えられる。そこで、本 OS では、研究はもちろんのこと、論考、事例など幅広い分野からの投稿によって、その方向性を検討し、議論を深めたい。

b. 観光に都市計画やまちづくりが貢献できること

比較的短期的な視点での政策や事業が求められる観光分野だが、持続的な地域づくりを重視する近年の傾向から、観光も長期的な視点に立脚した地域づくりの重要性が認識されるようになっている。従来から中長期的な視点で取り組んできた都市計画やまちづくりの手法はいかに観光地形成に貢献しうるか。本 OS では、観光に資する都市計画やまちづくりの考え方（制度、規制、誘導、合意形成、その他）に関する地域づくりの取り組みの事例等についての投稿を期待する。

c. 人口減少下での集約型都市構造再編と拠点をデザインするための理論と実践

近年、立地適正化計画制度に代表される人口減少に適応した都市構造再編のための計画制度が整備されている。しかし、人口減少に伴い表出する地区の空間構造の改変を時間的・空間的に細かくマネジメントし、望ましいものへと誘導していくためには、単なる「縮小」ではない拠点論、計画論、ネットワーク論、制度論の拡充が求められる。本 OS では、その知見に有用となる論文を幅広く募集する。

d. 空き地の都市計画にむけて

都市の空き地とは不確定な将来に対応するための動的な計画要素である。都市に常態化する空き地を都市のための資源として利用、計画するにはどうすればよいか。公共的な利用を促す社会実験やプレイスメイキング、ランドケアやアダプト制度など空き地マネジメント、都市の持続可能性やレジリエンスを高めるグリーンインフラの計画など。本 OS では空き地を資源とする利用、マネジメント、計画などに関する発表を募集し、活発な議論を行

いたい。

建築社会システム部門

a. 建築施工と作業分析

建築現場の職人あるいは係員の作業を題材とした分析研究として、施工管理の視点である QCDSE（品質・コスト・工期・安全・環境）のどこを目的として何をどのように測定して何を得たのか、という具体的調査分析事例を募集する。大学研究室等における作業分析研究だけではなく、企業における各種データモニタリングと管理への活用事例を集めることで、セッションへの参画者が多角的に現場作業を考察できる機会とすることを目的とする。

農村計画部門

a. 地域の包括的再編に向けた複層的機能ネットワーク化と地域経営

地域の存続のため、教育、医療、福祉、住宅、公共施設等、複層的なネットワーク化の中で様々な機能の連携と再編が進められている。また人口減少期の地域経営として、空き家や既存建物の活用・転用に加え、移住・定住、子育て支援等の、各種ソフト事業の拡充が図られている。特に先駆的な取り組みは、人口減少や超高齢化社会の最前線である市街地辺縁、中山間地等に多い。本 OS では、実効性の高い地域の包括的再編手法について、広く発表を募集し、活発な議論を行いたい。

情報システム技術部門

a. G 空間社会形成の展開

BIM や CIM 利用の推進、デジタルファブリケーションの普及など、情報システム技術が建築や都市・地域計画分野をけん引する時代となった。また GIS の高校地理必修化も数年後に控え、いよいよ G 空間社会（地理空間情報高度利用社会）形成の土壌は整い、社会や生活が変わっていく。私たちはどう考え、どう対応すべきか。本 OS では、G 空間社会形成に向けた幅広い研究発表を通じて、当該分野のさらなる展開に向けた議論を行う。

7. オーガナイズドセッションについての問合せ

事務局事業グループ 電話 03-3456-2057（直通）

構造担当 : 伏見・中村・高畑

防火担当 : 中村

環境工学担当 : 一ノ瀬・伊佐野

建築計画担当 : 榎本・及川

建築社会システム担当 : 一ノ瀬

農村計画担当 : 伏見

都市計画担当 : 榎本

情報システム技術担当 : 伏見・高畑

2020 年度大会細分類・細々分類一覧

研究発表申込みにあたっては、発表希望部門・細分類・細々分類を明記してください。建築歴史・意匠、情報システム技術の各部門には細々分類はありません。

部 門	細 分 類	細 々 分 類
1. 材料施工	1. コンクリート用材料	a. セメント b. 骨材 c. 水 d. 化学混和剤 e. 混和材 f. 繊維・新素材 g. その他
	2. モルタル・コンクリートの物性	a. フレッシュ時の物性 b. セメント硬化体の組織構造 c. 強度・力学的性質 d. 収縮・クリープ e. アルカリシリカ反応 f. 凍害 g. 中性化 h. 腐食・防食 i. 汚れ j. 耐久性一般 k. その他
	3. 鉄筋コンクリート工事の施工・管理	a. 鉄筋工事 b. 型枠工事 c. かぶり厚さ d. 打込み・打継ぎ e. 養生 f. 試験・検査法 g. 寒中コンクリート工事 h. 暑中コンクリート工事 i. その他
	4. 特殊仕様のコンクリート	a. 軽量コンクリート b. 流動化コンクリート c. 高流動コンクリート d. 高強度コンクリート e. プレストレストコンクリート f. プレキャストコンクリート g. マスコングリート h. 水密コンクリート i. 海水の作用を受けるコンクリート j. 水中コンクリート k. 凍結融解作用を受けるコンクリート l. 遮蔽用・原子力発電所施設用コンクリート m. ポリマーセメントコンクリート n. 再生骨材・再生コンクリート o. 繊維補強コンクリート p. CFT コンクリート q. 環境対応型コンクリート r. その他
	5. 無機系材料・工法・工事	a. メーソソリバー b. 石・張り石工事 c. 左官 d. タイル e. ALC・成形セメント板 f. ガラス g. 汚れ h. その他
	6. 鉄骨製作・鉄骨工事・金属系材料	a. 鋼材 b. 高力ボルト・ボルト・アンカーボルト c. 金属材料 d. 溶接材料、溶接条件・施工 e. 溶接ロボット f. 加工・製作 g. 工事現場接合 h. 工事現場施工 i. 鉄骨構法 j. 金物工事 k. 塗装・めっき l. 耐火被覆 m. 試験・検査法 (非破壊検査・寸法精度検査) n. その他
	7. 有機系材料・工法・工事	a. 木材・木質系材料 b. 木工事 c. 塗料 d. 塗装工事 e. プラスチック f. その他
	8. 防水材料・工法・工事	a. メンブレン防水材料 b. シーリング材 c. 防水設計・施工 d. 雨仕舞 e. その他
	9. 工事・品質管理	a. 工程計画・管理 b. 品質管理 c. 安全管理 d. 生産性 e. その他
	10. 仮設・山留工事	a. 仮設計画 b. 仮設工事 c. 仮設機械 d. 山留工事 e. その他
	11. 土・地業工事	a. 土工事 b. 地業工事 c. その他
	12. 機械・ロボット工法	a. 機械・ロボット開発 b. 工業化工法 c. 自動化工法 d. 情報化施工 e. 解体・リニューアル工法 f. その他
	13. 耐久計画・耐久設計	a. 建築物の長寿命化・耐用年数 b. 材料・部材の高耐久化・耐用年数 c. 耐用年数予測手法 d. 耐久計画・耐久設計例 e. その他
	14. 改修・維持保全	a. 維持保全計画・維持管理 b. 試験方法・調査・診断 c. 鉄筋コンクリート造躯体の補修・改修 d. 鉄骨造躯体の補修・改修 e. 木造躯体の補修・改修 f. 仕上材の補修・改修 g. 防水の補修・改修 h. 補修・改修事例 i. その他
	15. 解体	a. 解体工事 b. その他
	16. 地球環境・資源	a. エコマテリアル b. リサイクル・リユース c. 廃棄物・バイオマス d. ライフサイクルアセスメント (LCA) e. 環境配慮・低炭素 f. ジオポリマー g. その他
	17. 部位別材料・仕上げ・性能評価	a. 屋根 b. 外壁 c. 内装 d. 床 e. 開口部 f. 断熱・遮熱材料 g. 吸音・遮音材料 h. 汚れ i. その他
99. その他		
2. 構 造	1. 荷重・信頼性	a. 信頼性 b. 安全性・使用性 c. 基準値・設計法 d. 固定荷重 e. 積載荷重 f. 雪荷重・耐雪設計 g. 風荷重・耐風設計 h. 地震荷重・耐震設計 i. 温度荷重 j. 施工時荷重 k. 津波荷重・耐津波設計 l. その他
	2. 振動	a. 地震被害・震害評価 b. 震源・伝播特性 c. 地盤震動 d. 強震動予測・設計用地震動 e. 被害予測・地震防災 f. 動的相互作用・杭基礎応答 g. 建物応答特性とその評価 h. 振動実験・観測 i. 免震 j. 制振・制震 k. ヘルスモニタリング l. その他
	3. 応用力学・構造解析	a. 力学基礎理論 (変分原理・エネルギー原理・連続体・離散系・構造要素・構造物・熱関連問題) b. 数値解析法 (FEM・BEM・モード重量法・剛体-ばねモデル) c. 波動・振動解析法 d. 流れ場解析法 e. 材料の力学 (構成則・破壊力学・マイクロメカニクス・材料工学) f. 臨界現象・限界状態の力学 (安定論・座屈解析・分岐理論・極限解析・非線形解析・崩壊挙動解析) g. 設計力学・理論 (最適設計・応答制御設計・形態解析・システム数理) h. 逆問題 (システム同定) i. 確率論・信頼性解析 j. 構造計画 k. 架設計画 (施工計画) l. 衝撃解析・設計
	4. 基礎構造	a. 土の性質・調査 b. 地盤改良 c. 地盤の支持力 d. 連続地中壁 e. 杭 (鉛直) f. 杭 (水平) g. 併用基礎 h. 沈下 i. 液状化 j. 動的問題 k. 地盤アンカー l. 山留め m. 地盤環境問題 n. 小規模建築物基礎 o. その他
	5. 原子力プラント	a. 耐震設計 b. 振動試験 c. 地震観測 d. 免震・制振設計 e. 免震・制振実験 f. 構造設計 g. 構造実験 h. SC 構造 i. CCV j. 廃炉技術 k. その他

6. シェル・空間構造	a. シェル構造 b. 立体トラス・立体骨組構造 c. 膜構造 d. ケーブル・ハイブリッド構造 e. 構造イノベーション f. 構造デザイン・構造形態創生 g. ガラス・木・紙・その他の新素材 h. 集客施設の天井・非構造材 i. その他
7. 木質構造	〔材料・部材〕 a. 材料特性 b. 部材性能 〔耐久性〕 c. 腐朽・蟻害 〔接合部〕 d. 接合具 e. モーメント抵抗接合 f. 継手・仕口 g. 柱頭柱脚接合部 〔耐力壁〕 h. 筋かい壁 i. 面材壁 j. 土塗り壁 k. 板壁・面格子壁 〔屋根・床〕 l. 屋根構面 m. 床構面 〔基礎関係〕 n. 基礎・転倒 〔大規模木造〕 o. 大規模木造 〔新工法〕 p. 新工法・特殊構法 〔実大建物挙動〕 q. 実大静加力実験 r. 振動台実験 s. クリープ・振動障害 t. 静的立体・振動解析 〔免震・制振〕 u. 免震・制振 〔設計法〕 v. 荷重・応答予測法 w. 部位設計法 x. 耐震設計法〔調査〕 y. 被害調査 z. 実情・実態調査 〔伝統構法〕 A. 伝統部位・構造要素 B. 伝統建築物特性・設計法〔診断補強〕 C. 住宅耐震診断・補強 D. 伝統建築耐震診断・補強〔その他〕 E. 地球環境問題 F. その他
8. 鉄筋コンクリート構造	〔材料〕 a. コンクリート b. 鉄筋 c. 新素材 〔基本特性〕 d. 継手 e. 付着・定着 f. せん断 g. 構成則・解析法 h. あと施工アンカー・スタッド i. その他 〔部材（プレキャストを含む）〕 j. 梁 k. 柱 l. 耐震壁 m. スラブ n. 非構造壁 〔接合（プレキャストを含む）〕 o. 梁柱接合部（交差部） p. 部材接合部 q. その他 〔骨組・構法（プレキャストを含む）〕 r. 骨組 s. 設計・性能評価 t. 解析法 u. 免震・制震・制振 v. 基礎・杭・杭頭接合部 w. 相互作用（基礎と上部構造等） x. その他 〔既存建物〕 y. 震害 z. 耐震診断 A. 耐震改修・空間拡大 B. 耐震補強（柱・梁・接合部・その他） C. 耐震補強（壁・プレース） D. 耐震補強（外付け・架構） E. 免震・制震補強〔その他〕 F. 地球環境問題（3R・CO ₂ ） G. 型枠・施工法 H. その他
9. プレストレストコンクリート構造	〔材料〕 a. 材料・新素材 〔部材〕 b. 梁・柱・壁 c. 合成部材（合成スラブ） d. アンボンド部材 e. プレキャスト部材 f. プレストレスト鉄筋コンクリート（PRC）部材 g. PC杭 〔ひび割れ〕 h. ひび割れ評価および制御 〔接合〕 i. 梁柱接合部（仕口部） j. 圧着接合部 k. 部材接合部 l. 定着部 〔骨組・構法〕 m. 新構工法 n. 組み立て（PCaPC）架構 〔設計・解析〕 o. 動的挙動 p. 設計・解析法 q. 弾塑性挙動 〔耐震補強〕 r. プレストレスを用いた耐震補強工法 〔その他〕 s. 地球環境問題（長寿命建築） t. 耐火性（架構・部材・材料） u. 施工 v. 施工管理手法 w. その他
10. 鉄骨構造	〔設計法〕 a. 設計法 〔素材特性〕 b. 素材特性 〔接合要素〕 c. ボルト・高力ボルト d. 溶接 e. その他 〔接合部〕 f. 柱梁接合部 g. パネル h. 継手 i. 柱脚 j. トラス接合部 k. その他 〔部材〕 l. 引張材 m. 圧縮材 n. 梁材 o. 柱材 p. 床材 q. 2次部材 r. その他 〔耐震要素〕 s. プレース t. 耐震壁 u. その他 〔骨組〕 v. 平面骨組 w. 立体骨組 x. 振動 y. その他 〔製作・施工法〕 z. 耐震補強 〔その他〕 A. 地球環境問題 B. その他
11. 壁式構造・組積造	a. 設計法・解析法 b. 壁式鉄筋コンクリート造（プレキャストを含む） c. 鉄筋コンクリート組積造 d. 補強組積造 e. 枠組組積造 f. 混合構造 g. 無筋組積造（れんが造・石造等） h. コンクリートブロック塀・その他の塀 i. 耐震診断・補強・躯体改造 j. 免震 k. 地震被害・その他の被害 l. 地球環境問題 m. 海外の組積造 n. 厚肉床壁構造 o. モニタリング・動的相互作用 p. 新素材・新構法 q. その他
12. 鋼・コンクリート合成構造	a. 鋼・コンクリート合成構造全般（震害・設計法・解析法・構造計画・免震・制震・地球環境・その他） b. 鉄骨鉄筋コンクリート構造 c. 鋼管コンクリート構造 d. 混合構造（柱 RC 梁 S 構造・端部 RC 中央 S 梁等） e. 鉄骨コンクリート構造（CES 構造・SC 柱・SC 梁等） f. 鋼・コンクリート合成パネル（SC 壁・合成パネル・サンドイッチパネル等） g. FRP や木質材料等を用いた合成構造（FRP 構造・木質複合構造・繊維補強コンクリート等） h. 耐震診断・補強（鋼材を用いたコンクリート系構造物の補強を含む） i. 鋼材とコンクリートの接合部 j. その他の合成構造（座屈拘束プレース、合成床等）
99. その他	
3. 防火	1. 材料・物品の燃焼性 a. 材料等の燃焼性 b. 各種物品の燃焼性 c. 材料等の試験法 d. その他

	2. 火災・煙流動性状	a. 火災・ブルーム性状 b. 区画火災性状 c. 盛期火災・噴出火災性状 d. 煙流動性状 e. 煙制御 f. その他
	3. 避難安全	a. 覚知と避難開始 b. 避難行動特性 c. 避難シミュレーション d. 避難設計法 e. その他
	4. 防・耐火性	a. 金属系構造・材料 b. 鉄筋コンクリート系構造・材料 c. 木質系構造・材料 d. 合成構造およびその他の構造・材料 e. 区画部材 f. 防・耐火設計法 g. 防・耐火試験法 h. 火害診断・補修 i. その他
	5. 防災設備	a. 感知・通報 b. 火災拡大抑制 c. 避難誘導・避難器具 d. 消防活動支援 e. その他
	6. 安全設計・安全性評価	a. 火災事例・火災統計 b. 火災リスク・火災安全性評価 c. 火災安全設計 d. 総合防災 e. その他
	7. 都市火災・広域災害	a. 都市火災性状 b. 広域避難 c. 災害対応 d. その他
	99. その他	
4. 環境工学	1. 環境心理・生理	a. 感覚・知覚心理(音・熱・光・空気・複合環境) b. 生理指標評価(脳波・心拍等) c. 空間の知覚・印象 d. 景観・街並み・サウンドスケープ e. 空間認知・経路探索 f. パーソナルスペース・プライバシー g. 利用者ニーズ・価値観・ライフスタイル h. POE(満足度・知的生産性等) i. 住意識・コミュニティ・合意形成 j. 子供・高齢者・障害者 k. 理論・手法 z. その他
	2. 室内音響・音環境	a. 室内音響設計 b. 室内音響理論 c. 数値解析(室内音場) d. 音響材料・工法(吸音・拡散) e. 主観評価 f. 音声伝送・スピーチプライバシー g. 音環境調査・評価(屋内) z. その他
	3. 環境騒音	a. 音環境調査・評価(屋外) b. 音源(屋外) c. 伝搬(屋外) d. 低周波音(屋外) e. 数値解析(屋外伝搬) z. その他
	4. 騒音・固体音	a. 騒音源(建物内外) b. 騒音伝搬(建物内外) c. 遮音 d. 遮音材料・工法 e. 固体音・防振 f. 床衝撃音 g. 気流騒音・消音器 h. 低周波音(屋内) i. 騒音評価(屋内) j. 数値解析(遮音・固体音・床衝撃音) z. その他
	5. 環境振動	a. 振動源 b. 加振力 c. 地盤振動 d. 振動伝搬 e. 建物・床振動 f. 振動制御(防振・制振・免振等)・対策 g. 振動予測・解析 h. 振動感覚・性能評価 i. 振動実験・測定法 j. 設計法 k. 振動対策 z. その他
	6. 光・色	a. 光源(日光・人工光・LED・有機EL) b. 照明制御・照明方式 c. 昼光利用 d. 測光・測色 e. 計算(シミュレーション・BIM) f. 実測・調査 g. 健康・生理特性 h. 視覚・色覚特性 i. 高齢者・ロービジョン j. グレア・明視性・作業性 k. 明るさ感・雰囲気・印象 l. 色彩・質感 m. サイン・誘目 n. 景観 o. 照明デザイン p. 演出照明 q. 省エネルギー(ZEB・ZEH) z. その他
	7. 電磁環境、電気設備・電磁波応用技術	a. 基礎理論 b. 計測評価(シールド性能評価、電磁環境計測法など) c. 電磁環境(ICT/IoT 無線通信環境、無線情報セキュリティなど) d. 磁気環境(低周波電磁界、中間周波数帯利用、ワイヤレス給電・無線電力伝送など) e. 材料施工 f. 伝導ノイズ(PLC、ラインノイズなど) g. 雷害対策(電気接地、電気絶縁など) h. 放射線環境 i. 電磁環境教育・普及 z. その他(電磁波応用技術など)
	8. 熱	a. 伝熱基礎・伝熱解析 b. 熱物性 c. 測定技術 d. 気象データ e. 断熱 f. 遮熱・日射熱取得 g. 蓄熱・蓄冷 h. 蒸発冷却 i. 通風・換気 j. 気密・漏気 k. 部位(壁・窓・屋根・出入口など)の熱性能・エネルギー性能 l. 住宅の熱性能・エネルギー性能 m. 非住宅の熱性能・エネルギー性能 n. 熱負荷解析 o. 熱性能評価・熱環境評価指標(PAL*・エクセルギー評価を含む) p. 熱環境シミュレーション q. 住宅の温熱環境 r. 非住宅の温熱環境 s. 屋外・半屋外空間の温熱環境 z. その他
	9. 湿気	a. 熱・水分移動理論・解析手法 b. 湿気物性 c. 物質移動(塩類等) d. 吸放湿・調湿 e. 結露 f. 防湿 g. 測定技術 h. 雨・防水 i. 凍害・塩害 j. カビ・微生物 k. 湿害 l. 緑化 m. 蒸発冷却 n. 湿度制御機器 o. 人体・健康 p. 文化財保存・保存環境 z. その他
	10. 温熱感	a. 温熱要素・指標 b. 温熱感覚・反応 c. 熱的快適・許容範囲 d. 熱的人体モデル e. 温熱環境評価・測定技術 f. 住宅 g. 非住宅建物(オフィス、学校など) h. 不均一空間 i. 屋外・半屋外空間 j. 睡眠環境 k. 入浴環境 l. 人間行動と省エネルギー z. その他
	11. 環境共生型建築(建築熱環境デザイン)	a. 地域の気候・風土と建築(パナキュラー建築技術) b. 自然エネルギー・自然エクセルギー利用技術 c. 日射・天空放射・地熱利用の建築デザイン d. 通風・換気・廃熱の建築デザイン e. 自然採光・昼光利用の建築デザイン f. ゼロエネルギー建築(ZEB・ZEH) g. 環境性能向上のためのファサードデザイン(ダブルスキン・緑化・その他) h. 改修による環境改善と運用(断熱改修・その他) i. パッシブデザインを活かす建築設備のデザイン、IoT・AI技術の活用 j. 地域資源の活用・物質循環・省資源(バイオマス・木材・その他) k. 建築環境性能の総合評価(計画・運用・検証) l. 住まい方・住みこなし、使い方・使いこなし(省エネ行動・意識の向上) m. 熱環境適応(適応モデル・適応デザイン) n. 設計のための建築環境デザイン教育 o. 住環境教育 z. その他
	12. 空気流動基礎	a. 気流・換気量の測定法・実験法 b. 気流・換気量等の現場測定法 c. 室内気流の数値流体(CFD)解析手法 d. 屋外気流の数値流体(CFD)解析手法 e. 換気回路網などの数値解析手法 f. 換気・空調効率指標による評価手法 g. 吹出し気流・熱上昇流等のモデリング h. 自然換気・通風のモデリング z. その他

	13. 空気流動応用	a. 人体周辺気流 b. 室内気流 c. 建物周辺気流・都市気流 d. 住宅の換気・空調 e. 住宅厨房の換気・空調 f. オフィスの換気・空調 g. 学校・病院等の換気・空調 h. 業務厨房・工場・クリーンルーム等の換気・空調 i. 大空間の換気・空調 j. 通過空間の換気・空調 k. 住宅の自然換気・通風 l. オフィス等の自然換気・ハイブリッド換気 m. 気流・換気の制御 n. 気密性・隙間風 o. 煙流動 z. その他
	14. 空気質基礎	a. 空気質の測定法・実験法 b. 空気質の現場測定法 c. 空気質の数値解析手法 d. 空気質基準と必要換気量 e. 空気環境の評価手法 (知的生産性を含む) z. その他
	15. 空気質応用	a. 空気質の実態調査 b. ガス状物質による空気汚染とその対策 c. 粒子状物質による空気汚染とその対策 d. 化学物質による空気汚染とその対策 e. ウィルス・微生物による空気汚染とその対策 f. 臭気による空気汚染とその対策 g. 複合的な空気汚染とその対策 h. 空気環境の評価 (知的生産性を含む) i. 空調システムによる空気汚染 j. 自然換気・ハイブリッド換気による空気汚染 k. クリーンルームの清浄化 z. その他
	16. 水環境・給排水衛生設備	a. 水辺・親水 b. 水と緑 c. 雨水活用 d. 水質保全 e. 水・湯使用 f. 水まわり g. 給水機器・給水システム h. 給湯機器・給湯システム i. 配管システム j. トイレ・衛生器具 k. 排水機器・排水システム l. 排水処理・排水再利用 m. 廃棄物・バイオマス n. 診断・リニューアブル o. LCP・BCP z. その他
	17. 空調システム	a. 空調機器 b. 暖房機器 c. 吹出し・吸込みシステム d. 空気搬送システム e. 放射冷暖房システム f. 個別空調システム g. 調湿設備 (デシカントを含む) h. ベリメーター空調 (通風窓など) i. タスク・アンビエント空調 j. 換気設備 k. 空調制御システム l. 温熱・空気環境 m. 実測評価 n. 熱負荷計算 o. システムシミュレーション p. 空調システムの数値解析 (CFD など) q. 省エネルギー r. 空調計画法 s. 空調設計法 t. 空調システムの新技術 z. その他
	18. 熱源システム	a. 熱源機器 b. 配管方式・熱搬送システム c. 蓄熱方式 d. コージェネレーション e. 燃料電池 f. 熱源制御システム g. 実測評価 h. システムシミュレーション i. 省エネルギー j. 未利用エネルギー活用システム k. 新エネルギー活用システム l. 排熱利用 m. 熱源計画法 n. 熱源設計法 o. 熱源システムの新技術 z. その他
	19. 建築設備応用	a. 住宅の設備 b. 事務所・商業施設の設備 c. 研究所・工場・データセンターの設備 d. 大空間の設備 e. ファサードエンジニアリング f. 建築一体化設備 g. 自然エネルギー利用設備 (太陽光発電・太陽熱・地熱等) h. ゼロエネルギー建築 (ZEB・ZEH) i. 性能評価 (PAL・BEI・LCA・CASBEE 等) j. 環境影響評価 k. コミッションング l. BEMS m. コストスタディ n. プロダクティビティ o. シミュレーションツール p. メンテナンス q. リニューアブル・コンバージョン・ESCO r. 設備教育 s. 設備設計・施工 t. スマートグリッド u. 気象条件 v. ヒューマンファクター w. その他の設備 (電気・照明・昇降機・防災・ガスなど) x. IoT・AI 等 z. その他
	20. 都市環境・都市設備	a. 都市環境計画論・都市設備計画論 b. 建築及び都市のエネルギー・水消費 c. エネルギーマネジメントシステム (EMS) d. 地域エネルギーシステム・スマートエネルギーネットワーク e. 未利用エネルギー・再生可能エネルギー活用 f. 環境配慮型都市・低炭素都市 g. スマートシティ・スマートコミュニティ h. 空間データ利用技術 (GIS・リモートセンシング) i. 都市防災・減災・BCP・DCP j. 都市気候実測 k. 都市気候シミュレーション l. 建築外部空間微気候 m. 都市の緑・水辺 n. ヒートアイランド緩和策 o. 暑熱環境適応策 p. 屋外環境の温熱生理・心理 q. 都市の風環境 r. クールルーフ・クールペイブメント z. その他
	21. 環境設計	a. 住宅・建築環境設計 b. 地域環境設計 c. 都市環境設計 d. 設計基準 e. 設計技術 (設計プロセス・VR・BIM) f. 環境性能評価 g. 総合・複合環境評価 h. 環境格付 (CASBEE・環境評価法) i. 環境行動 j. 健康 k. 環境バリアフリー・ユニバーサルデザイン l. 住まい方・ライフスタイル m. 建築のエネルギー消費 n. コペネフィット o. 環境教育 p. 環境改修 q. 住民参加 r. 蒸暑地域建築 s. 寒冷地域建築 z. その他
	22. サステナブル環境	a. 環境材料 b. 長寿命・高耐久 c. リサイクル・リユース d. 緑化・生態系 e. 木造・木質材料 f. 木材生産・流通 g. ライフサイクルアセスメント (LCA) h. カーボンニュートラル i. 地球温暖化 j. バイオマス k. 循環型社会 z. その他
	99. その他	
5. 建築計画	1. 住宅計画	a. 住宅計画論・住宅計画史 b. 住まい方・ライフスタイル c. 集合住宅・集住環境・集落 d. 都市居住・高層居住 e. 地域特性・伝統性 f. 高齢・障害者の住環境 g. 住宅の改善・増改築・リフォーム・コンバージョン h. 街区計画・住宅地計画 i. 団地再生 j. 住宅供給・ハウジング・住宅生産 k. 管理・運営 l. 住宅政策 m. 海外の住居・住宅地 n. その他
	2. 施設計画	a. 地域施設計画論 b. 学校 (学習・生活行動) c. 学校 (空間他) d. 集会・コミュニティ施設 e. 劇場・ホール f. 美術館・博物館 g. 図書館・社会教育施設 h. スポーツ・レクリエーション i. 病院 (病棟) j. 病院 (外来他) k. 高齢者施設 (居住・入所施設) l. 高齢者施設 (地域・通所施設) m. 障害者施設 n. 児童・乳幼児施設 o. 商業・業務施設 p. 複合化・共用・転用 q. その他

3. 計画基礎	a. 規模計画・配置計画 b. 安全計画・避難・防災・日常災害 c. 空間構成・景観 d. 設計方法・理論・プロセス e. 設計知識・設計情報・支援システム・データベース f. FM・POE・プログラミング g. 機器・設備・家具の寸法・規格 h. 人体・動作寸法 i. 動作特性 j. 行動特性・停留・群集流動 k. 環境心理・環境行動・経路探索 l. 居方・使われ方 m. 感覚・空間知覚・空間認知 n. バリアフリー・ユニバーサルデザイン・ノーマライゼーション環境 o. 情報環境・インターフェース p. その他	
	4. 構法計画	a. 構法計画理論 (MC、BE 論、構法体系化など) b. 躯体構法開発、各部構法開発 c. 建築改修構法 (リノベーション、リフォーム、コンバージョンなど) d. 木造構法 e. 構法の変遷 f. 歴史的構法、風土的構法 g. 構法計画と生産・供給システム h. オープンビルディングと構法設計 i. コンピュータショナルデザインと構法設計 j. その他
	5. 設計計画	a. 建築設計計画理論 b. 地域設計計画理論 c. 設計計画史 d. まちづくり (地域再生・都市再生)・コミュニティ計画 e. 施設再編・再配置 f. 建築企画・プロジェクト・マネージメント g. 参加・コラボレーション h. 設計主体・設計組織 i. 職能・資格制度 j. 設計教育 k. 法規 l. その他
	99. その他	
6. 農村計画	1. 計画基礎・計画論・地域構造	a. 計画・設計論 b. 田園空間・ラーバンデザイン論 c. 地域構造論 d. 農山漁村計画 e. 国土・広域計画 f. 国土利用・土地利用 g. その他
	2. 住居・生活文化	a. 住様式・住文化 b. 住居空間・デザイン c. 家族・生活構造・ライフスタイル d. リノベーション・空き家活用 e. その他
	3. 集落・集住文化	a. 集落空間 b. 集落居住 c. 地域社会・文化 d. なりわい e. その他
	4. 景観・環境デザイン	a. ルーラルデザイン b. 景観論・風土論 c. 集落・自然景観 d. 景観法・制度・計画 e. 環境資源・環境資産 f. エコシステム g. その他
	5. 地域づくり・地域組織	a. 自治組織・コミュニティ b. NPO・パートナーシップ・協働 c. 制度・手法・計画プロセス d. 住民参加・ワークショップ e. UJI ターン・移住 f. 都市・農村交流・観光 g. その他
	6. 地域施設計画	a. 新設整備・施設再編・再配置、施設複合化 b. 施設保全・利活用、共用・転用 c. その他
	7. 地域包括システム	a. 地域包括ケア b. 高齢者 c. こども d. 障がい e. 交通・モビリティ f. 生活支援 g. 医療・保健 h. その他
	8. 防災・災害復興	a. 災害史 b. 防災 c. 災害実態・避難 d. 復旧 e. 復興 f. 災害支援 g. その他
99. その他		
7. 都市計画	1. 都市論と都市形成史	a. 都市論 b. 都市計画論 c. 都市形成史・都市計画史 d. その他
	2. 都市像と計画	a. マスタープラン b. 都市圏 c. 土地利用 d. 基幹施設 e. 交通 f. 海外都市計画 g. キャンパス計画 h. その他
	3. 市街地変容と都市・地域の再生	a. 市街地整備・新市街地 b. 再開発 c. 商業地・商業空間 d. 中心市街地 e. 都市再生 f. 街なか再生・街なか居住 g. 都市経営 h. 観光 i. その他
	4. 地区とコミュニティ	a. 住環境 b. 都心居住 c. 地区計画 d. 地区施設 e. 高齢者・福祉 f. その他
	5. 都市環境と防災	a. 環境管理 b. 環境アセスメント c. 地球環境 d. 災害事前対策 e. 災害調査 f. 復旧・復興 g. 防災システム h. その他
	6. 景観と都市デザイン	a. 都市デザイン b. 景観論 c. 景観イメージ・景観評価 d. 景観計画・景観整備 e. 景観管理・まちなみ f. 歴史的景観 g. 自然・緑地 h. 街路・公共空間 i. 空地 j. その他
	7. 制度と行政	a. 都市計画制度 b. 規制・誘導 c. 整備・開発の事業 d. 行政組織 e. その他
	8. 参加と組織	a. 住民参加 b. ワークショップ c. NPO d. プロセス e. まちづくり学習 f. その他
	9. 教育と資格	a. 都市計画・設計教育 b. 資格 c. その他
	10. 調査・評価と計画支援	a. 都市調査・都市解析 b. GIS/CAD/CG c. インターネット d. シミュレーション e. その他
99. その他		
8. 建築社会システム	1. 建築社会システム	a. 統計・情報 (統計作成、統計資料分析、市場分析、情報システム) b. 社会論 (制度、政策、環境問題、資源循環、国際化) c. 産業論 (建設業経営、建設産業論、産業構造) d. 人材論 (資格、職能、労働問題、教育) e. マネジメント論 (建設マネジメント、地域マネジメント、FM、アセットマネジメント、事業継続マネジメント) f. その他
	2. ハウジング	a. 住宅事情・住宅問題 (国内・海外住宅事情、地方性・地域性、住宅統計、住宅情報) b. 住宅政策・住宅計画 (居住政策、居住権、住生活基本計画・地域住宅計画) c. 居住者・居住要求・住宅需要・住生活 (居住者構成、ライフスタイル、住生活、住まい方、住意識・住要求、住宅需要) d. 住宅供給・住宅市場・住宅経済 (供給主体、中古住宅流通、住居費・家賃、住宅価格、住宅建設費、地価) e. 居住水準・性能・品質 (住居水準、品質確保、性能表示、住宅性能評価) f. 住宅管理・住宅改修・ストック対策 (建替、リフォーム、中古住宅活用、ストック活用、マンション・住宅地管理) g. 住まいづくり・まちづくり・組織 (NPO、コミュニティ) h. 居住支援・住教育・居住福祉 (セーフティネット、高齢者住宅) i. 住まいの安心・安全 (住宅防犯、住宅防災、住宅被害、住宅災害復興) j. 居住地・地域構造 (居住地特性、郊外住宅地、都心居住、住宅地像) k. その他

	3. 建築生産	a. 建築生産一般（品質確保問題、発注者問題、労働者問題） b. 企画（建築企画、建築プログラミング） c. 発注と契約（入札・契約制度、発注方式、PM、CM） d. 設計と監理（設計、工事監理） e. 施工管理（工程管理、品質管理、コスト管理、労務管理、安全衛生管理、環境管理） f. 施工技術（工法、生産性向上、施工新技術、自動化・機械化、ロボット、解体技術、リサイクル） g. 管理技術（現場 ICT、SCM、BIM、AI、IoT） h. 建築コスト（原価管理、VE 提案、修繕コスト、コスト評価、積算・見積り、調達） i. 人材・技能（建築専門職能、人材育成、教育・訓練、技能継承） j. その他
	4. ストック・資産	a. 事業スキーム・金融（金融・保険、契約・紛争処理・ADR、コスト・プライス、プロジェクトファイナンス・PFI、証券化・デューデリジェンス） b. 施設管理・FM（プロパティマネジメント、施設管理・FM、維持管理、ストック対策・リフォーム・リニューアル・再生コンバージョン） c. 評価（リスク評価・リスク管理、不動産評価・建物評価、ライフサイクル評価・LCC・LCA、コミッションング） d. その他
	99. その他	
9. 建築歴史・意匠	1. 日本建築史 2. 日本近代建築史 3. 東洋建築史（オリエントを含む） 4. 西洋建築史 5. 西洋近代建築史 6. 建築論 7. 意匠論 8. 都市史 9. 保存（保存論、保存技術、建築資料など） 99. その他	
10. 海洋建築	1. 計画・デザイン	a. 土地利用・空間整備計画 b. 施設設計・意匠・原単位 c. 景観計画・評価・デザイン d. 事例調査・プロジェクト報告 e. 安全・防災・避難計画 f. 社会・法制度 g. 歴史・保存・文化的評価 h. 観光・レクリエーション z. その他
	2. 環境	a. 環境計測・評価・調査分析 b. 自然再生・創造・共生 c. 居住環境調査・計画 d. 再生可能エネルギー利用 z. その他
	3. 構造	a. 海洋構造計画・設計 b. 性能評価・検証 c. 自然環境情報・予測および環境荷重 d. 浮体動揺（流体力、係留力を含む） e. 流力弾性（大型浮体、シェルを含む） f. 支持・保持システム（着底式、杭式、アンカー、シンカー等） g. 事例調査 h. 最適化・同定・制御 z. その他
	4. 材料・施工	a. 材料物性 b. 耐海水性・耐久性 c. 施工計画 d. 施工技術 z. その他
	5. 保全・管理	a. 保守・維持管理 b. 解体・再利用計画 z. その他
	6. 津波	a. 荷重 b. 設計 c. 避難 d. 施設 e. 調査 f. 復興 g. 対策 z. その他
	99. その他	
11. 情報システム技術	1. システム化技術 2. 設計システム・CAD・BIM 3. 生産情報システム 4. FM システム 5. 図形処理・画像処理 6. 数値解析・シミュレーション・数理計画・数理統計 7. 知的システム・ソフトコンピューティング・AI 8. 制御・ロボット 9. センシング・モニタリング・IoT 10. 複雑系 11. アルゴリズムックデザイン 12. 感性工学 13. デザイン科学 14. データベース 15. GIS 16. 環境・地球環境 17. 教育システム 18. コラボレーション 19. 都市・地域 20. 景観 21. 人間科学 22. 防災 99. その他	
13. 教育	1. 専門教育	a. 設計教育 b. 環境教育 c. 構造教育 d. 材料・構法教育 e. 歴史・保存再生教育 f. 都市計画・まちづくり教育 g. 防災教育 h. 住教育 i. ものづくり・技能教育 j. 倫理教育 k. マネジメント教育 l. 分野融合型教育 m. その他
	2. 対象者別の教育	a. 大学院教育 b. 初学者教育 c. 企業内教育 d. 継続教育・CPD e. 工業高校・工専の教育 f. 市民教育 g. 子ども教育 h. 初等教育・中等教育 i. その他
	3. 教育方法	a. 国際ワークショップ b. コラボレーション c. e-learning・通信教育 d. 情報教育（CAD、BIM など） e. 体験型授業・実践教育・PBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング、プロブレム・ベースド・ラーニング） f. スタジオ教育 g. 教材 h. その他
	4. 制度や資格	a. 教育制度 b. 海外の教育 c. インターンシップ d. 資格と教育 e. その他
	99. その他	

Presentation Category ・ Field

Category	Field	
	Detailed	Less Detailed
1. Building Materials and Construction	1. Concrete Materials	a. セメント b. 骨材 c. 水 d. 化学混和剤 e. 混和材 f. 繊維・新素材 g. その他
	2. Properties of Mortar/Concrete	a. フレッシュ時の物性 b. セメント硬化体の組織構造 c. 強度・力学的性質 d. 収縮・クリープ e. アルカリシリカ反応 f. 凍害 g. 中性化 h. 腐食・防食 i. 汚れ j. 耐久性一般 k. その他
	3. Reinforced Concrete Works , Management	a. 鉄筋工事 b. 型枠工事 c. かぶり厚さ d. 打込み・打継ぎ e. 養生 f. 試験・検査法 g. 寒中コンクリート工事 h. 暑中コンクリート工事 i. その他
	4. Special Concrete	a. 軽量コンクリート b. 流動化コンクリート c. 高流動コンクリート d. 高強度コンクリート e. プレストレストコンクリート f. プレキャストコンクリート g. マスコンクリート h. 水密コンクリート i. 海水の作用を受けるコンクリート j. 水中コンクリート k. 凍結融解作用を受けるコンクリート l. 遮蔽用・原子力発電所施設用コンクリート m. ポリマーセメントコンクリート n. 再生骨材・再生コンクリート o. 繊維補強コンクリート p. CFT コンクリート q. 環境対応型コンクリート r. その他
	5. Inorganic Materials, Method, and Works	a. メンソリ b. 石・張り石工事 c. 左官 d. タイル e. ALC・成形セメント板 f. ガラス g. 汚れ h. その他
	6. Steel Fabrication, Steel Works, Metallic Materials	a. 鋼材 b. 高力ボルト・ボルト・アンカーボルト c. 金属材料 d. 溶接材料・溶接条件・施工 e. 溶接ロボット f. 加工・製作 g. 工事現場接合 h. 工事現場施工 i. 鉄骨構法 j. 金物工事 k. 塗装・めっき l. 耐火被覆 m. 試験・検査法 (非破壊検査・寸法精度検査) n. その他
	7. Organic Materials, Method, and Works	a. 木材・木質系材料 b. 木工事 c. 塗料 d. 塗装工事 e. プラスチック f. その他
	8. Waterproofing Materials, Method, and Works	a. メンブレン防水材 b. シーリング材 c. 防水設計・施工 d. 雨仕舞 e. その他
	9. Construction Works, Quality Control	a. 工程計画・管理 b. 品質管理 c. 安全管理 d. 生産性 e. その他
	10. Temporary Works, Earth Retaining Works	a. 仮設計画 b. 仮設工事 c. 仮設機械 d. 山留工事 e. その他
	11. Earth Works, Foundation Works	a. 土工事 b. 地業工事 c. その他
	12. Construction Machinery, Robotics	a. 機械・ロボット開発 b. 工業化工法 c. 自動化工法 d. 情報化施工 e. 解体・リニューアル工法 f. その他
	13. Durability Plan, Durability Design	a. 建築物の長寿命化・耐用年数 b. 材料・部材の高耐久化・耐用年数 c. 耐用年数予測手法 d. 耐久計画・耐久設計例 e. その他
	14. Renovation, Maintenance	a. 維持保全計画・維持管理 b. 試験方法・調査・診断 c. 鉄筋コンクリート造躯体の補修・改修 d. 鉄骨造躯体の補修・改修 e. 木造躯体の補修・改修 f. 仕上材の補修・改修 g. 防水の補修・改修 h. 補修・改修事例 i. その他
	15. Demolition	a. 解体工事 b. その他
	16. Global Environment, Natural Resources	a. エコマテリアル b. リサイクル・リユース c. 廃棄物・バイオマス d. ライフサイクルアセスメント (LCA) e. 環境配慮・低炭素 f. ジオポリマー g. その他
	17. Materials, Finishing and Performance Evaluation of Elements	a. 屋根 b. 外壁 c. 内装 d. 床 e. 開口部 f. 断熱・遮熱材料 g. 吸音・遮音材料 h. 汚れ i. その他
	99. Others	
	2. Structures	1. 荷重・信頼性
2. 振動		a. 地震被害・震害評価 b. 震源・伝播特性 c. 地盤震動 d. 強震動予測・設計用地震動 e. 被害予測・地震防災 f. 動的相互作用・杭基礎応答 g. 建物応答特性とその評価 h. 振動実験・観測 i. 免震 j. 制振・制震 k. ヘルスモニタリング l. その他
3. 応用力学・構造解析		a. 力学基礎理論 (変分原理・エネルギー原理・連続体・離散系・構造要素・構造物・熱関連問題) b. 数値解析法 (FEM・BEM・モード重量法・剛体ばねモデル) c. 波動・振動解析法 d. 流れ場解析法 e. 材料の力学 (構成則・破壊力学・マイクロメカニクス・材料工学) f. 臨界現象・限界状態の力学 (安定論・座屈解析・分岐理論・極限解析・非線形解析・崩壊挙動解析) g. 設計力学・理論 (最適設計・応答制御設計・形態解析・システム数理) h. 逆問題 (システム同定) i. 確率論・信頼性解析 j. 構造計画 k. 架設計画 (施工計画) l. 衝撃解析・設計

4. 基礎構造	a. 土の性質・調査 b. 地盤改良 c. 地盤の支持力 d. 連続地中壁 e. 杭 (鉛直) f. 杭 (水平) g. 併用基礎 h. 沈下 i. 液状化 j. 動的問題 k. 地盤アンカー l. 山留め m. 地盤環境問題 n. 小規模建築物基礎 o. その他
5. 原子力プラント	a. 耐震設計 b. 振動試験 c. 地震観測 d. 免震・制振設計 e. 免震・制振実験 f. 構造設計 g. 構造実験 h. SC 構造 i. CCV j. 廃炉技術 k. その他
6. シェル・空間構造	a. シェル構造 b. 立体トラス・立体骨組構造 c. 膜構造 d. ケーブル・ハイブリッド構造 e. 構造イノベーション f. 構造デザイン・構造形態創生 g. ガラス・木・紙・その他の新素材 h. 集客施設の天井・非構造物 i. その他
7. 木質構造	〔材料・部材〕 a. 材料特性 b. 部材性能 〔耐久性〕 c. 腐朽・蟻害 〔接合部〕 d. 接合具 e. モーメント抵抗接合部 f. 継手・仕口 g. 柱頭柱脚接合部 〔耐力壁〕 h. 筋かい壁 i. 面材壁 j. 土塗り壁 k. 板壁・面格子壁 〔屋根・床〕 l. 屋根構面 m. 床構面 〔基礎関係〕 n. 基礎・転倒 〔大規模木造〕 o. 大規模木造 〔新工法〕 p. 新工法・特殊構法 〔実大建物挙動〕 q. 実大静加力実験 r. 振動台実験 s. クリープ・振動障害 t. 静的立体・振動解析 〔免震・制振〕 u. 免震・制振 〔設計法〕 v. 荷重・応答予測法 w. 部位設計法 x. 耐震設計法 〔調査〕 y. 被害調査 z. 実情・実態調査 〔伝統構法〕 A. 伝統部位・構造要素 B. 伝統建築物特性・設計法 〔診断補強〕 C. 住宅耐震診断・補強 D. 伝統建築耐震診断・補強 〔その他〕 E. 地球環境問題 F. その他
8. 鉄筋コンクリート構造	〔材料〕 a. コンクリート b. 鉄筋 c. 新素材 〔基本特性〕 d. 継手 e. 付着・定着 f. セン断 g. 構成則・解析法 h. あと施工アンカー・スタッド i. その他 〔部材 (プレキャストを含む)〕 j. 梁 k. 柱 l. 耐震壁 m. スラブ n. 非構造壁 〔接合 (プレキャストを含む)〕 o. 梁柱接合部 (交差部) p. 部材接合部 q. その他 〔骨組・構法 (プレキャストを含む)〕 r. 骨組 s. 設計・性能評価 t. 解析法 u. 免震・制震・制振 v. 基礎・杭・杭頭接合部 w. 相互作用 (基礎と上部構造等) x. その他 〔既存建物〕 y. 震害 z. 耐震診断 A. 耐震改修・空間拡大 B. 耐震補強 (柱・梁・接合部・その他) C. 耐震補強 (壁・ブレース) D. 耐震補強 (外付け・架構) E. 免震・制震補強 〔その他〕 F. 地球環境問題 (3R・CO ₂) G. 型枠・施工法 H. その他
9. プレストレストコンクリート構造	〔材料〕 a. 材料・新素材 〔部材〕 b. 梁・柱・壁 c. 合成部材 (合成スラブ) d. アンボンド部材 e. プレキャスト部材 f. プレストレスト鉄筋コンクリート (PRC) 部材 g. PC 杭 〔ひび割れ〕 h. ひび割れ評価および制御 〔接合〕 i. 梁柱接合部 (仕口部) j. 圧着接合部 k. 部材接合部 l. 定着部 〔骨組・構法〕 m. 新構工法 n. 組み立て (PCaPC) 架構 〔設計・解析〕 o. 動的挙動 p. 設計・解析法 q. 弾塑性挙動 〔耐震補強〕 r. プレストレスを用いた耐震補強工法 〔その他〕 s. 地球環境問題 (長寿命建築) t. 耐火性 (架構・部材・材料) u. 施工 v. 施工管理手法 w. その他
10. 鉄骨構造	〔設計法〕 a. 設計法 〔素材特性〕 b. 素材特性 〔接合要素〕 c. ボルト・高力ボルト d. 溶接 e. その他 〔接合部〕 f. 柱梁接合部 g. パネル h. 継手 i. 柱脚 j. トラス接合部 k. その他 〔部材〕 l. 引張材 m. 圧縮材 n. 梁材 o. 柱材 p. 床材 q. 2次部材 r. その他 〔耐震要素〕 s. ブレース t. 耐震壁 u. その他 〔骨組〕 v. 平面骨組 w. 立体骨組 x. 振動 y. その他 〔製作・施工法〕 z. 耐震補強 〔その他〕 A. 地球環境問題 B. その他
11. 壁式構造・組積造	a. 設計法・解析法 b. 壁式鉄筋コンクリート造 (プレキャストを含む) c. 鉄筋コンクリート組積造 d. 補強組積造 e. 枠組組積造 f. 混合構造 g. 無筋組積造 (れんが造・石造等) h. コンクリートブロック塀・その他の塀 i. 耐震診断・補強・躯体改造 j. 免震 k. 地震被害・その他の被害 l. 地球環境問題 m. 海外の組積造 n. 厚肉床壁構造 o. モニタリング・動的相互作用 p. 新素材・新構法 q. その他

	12. 鋼・コンクリート合成構造	a. 鋼・コンクリート合成構造全般（震害・設計法・解析法・構造計画・免震・制震・地球環境・その他） b. 鉄骨鉄筋コンクリート構造 c. 鋼管コンクリート構造 d. 混合構造（柱 RC 梁 S 構造・端部 RC 中央 S 梁等） e. 鉄骨コンクリート構造（CES 構造・SC 柱・SC 梁等） f. 鋼・コンクリート合成パネル（SC 壁・合成パネル・サンドイッチパネル等） g. FRP や木質材料等を用いた合成構造（FRP 構造・木質複合構造・繊維補強コンクリート等） h. 耐震診断・補強（鋼材を用いたコンクリート系構造物の補強を含む） i. 鋼材とコンクリートの接合部 j. その他の合成構造（座屈拘束ブレース、合成床等）
	99. その他	
3. Fire Safety	1. Materials	a. Combustion behavior of materials b. Combustion behavior of goods c. Test methods d. Others
	2. Fire Physics & Smoke Movement	a. Fire plumes b. Compartment fires c. Fully-developed compartment fires & ejected flame d. Smoke movement e. Smoke control f. Others
	3. Evacuation Safety	a. Awareness of a fire and evacuation start b. Evacuation behavior c. Evacuation simulation d. Evacuation design methods e. Others
	4. Fire Resistance	a. Metal structures & materials b. Reinforced concrete structures & materials c. Timber structures & materials d. Composite & other structures & materials e. Fire compartment members f. Fire resistant design g. Fire resistant test methods h. Diagnosis and repair of fire-damaged buildings i. Others
	5. Fire-Protection Equipment	a. Detection, alarm & communications b. Fire control measures c. Emergency exit signs & fire escape apparatus d. Firefighting support equipment e. Others
	6. Fire Safety Design & Evaluation	a. Fire incidents & statistics b. Fire risk assessment c. Fire safety design methods d. Comprehensive disasters prevention plan e. Others
	7. Urban Fire & Wide-Area Disaster	a. Behavior of urban fires b. Wide-area evacuation c. Disaster response d. Others
	99. Others	
4. Environmental Engineering	1. Environmental Psychology and Physiology	a. Sensation and perception (Acoustic, thermal, visual, olfactory and combined environment) b. Physiological value evaluation (EEG, HR etc.) c. Perception and impression of space d. Landscape, townscape and soundscape e. Space cognition and wayfinding f. Personal space and privacy g. Users' needs, sense of value and lifestyle h. POE (Degree of satisfaction, productivity etc.) i. Residential consciousness, community and consensus building j. Children, elderly persons and handicapped persons k. Theories and methods z. Others
	2. Indoor Sound Environment and Room Acoustics	a. Room acoustics design b. Room acoustics theory c. Computer simulation (Indoor) d. Acoustic material, structure (Absorption, diffusion) e. Subjective evaluation f. Speech transmission, privacy g. Sound environment survey and evaluation (Indoor) z. Others
	3. Outdoor Sound Environment	a. Sound environment survey and evaluation (Outdoor) b. Sound source (Outdoor) c. Sound propagation (Outdoor) d. Low frequency sound (Outdoor) e. Computer simulation (Outdoor) z. Others

	4. Building Acoustics	<ul style="list-style-type: none"> a. Sound source (In and around building) b. Sound propagation (In and through building) c. Sound insulation d. Sound insulation material, structure e. Structure borne sound, vibration isolation f. Floor impact sound g. Air flow noise, duct noise h. Low frequency sound (Indoor) i. Noise evaluation (Indoor) j. Computer simulation (Building) z. Others
	5. Environmental Vibration	<ul style="list-style-type: none"> a. Vibration source b. Excitation force c. Ground vibration d. Vibration propagation e. Building vibration, floor vibration f. Control of vibration (Vibration damping, vibration control, vibration isolation etc.) g. Vibration prediction, vibration analysis h. Vibration sensation, performance evaluation i. Vibration experiment, measurement method j. Design method k. Vibration countermeasure, vibration reduction z. Others
	6. Light, Lighting and Color	<ul style="list-style-type: none"> a. Light sources (Daylight, electric light, light emitting diode, organic electroluminescence) b. Light control, lighting system c. Daylighting d. Photometry, colorimetry e. Calculation (Simulation, building information modeling) f. Practical field measurement, survey g. Health, physiological characteristics h. Vision, color vision i. Older people, low vision j. Glare, visibility, performance k. Perceived brightness, mood, impression l. Color, texture m. Sign, conspicuity n. Landscape o. Lighting design p. Mood lighting q. Energy savings (Zero energy building, zero energy house) z. Others
	7. Electromagnetic Environment, Electric Equipment and Technologies Applying Electromagnetic Wave	<ul style="list-style-type: none"> a. Basic theory b. Measurement evaluation (Shielding specification evaluation, electromagnetic environmental measurement method, etc.) c. Electromagnetic environment (ICT/IoT wireless communication environment, wireless communication security, etc.) d. Magnetic environment (Low frequency electromagnetic field, the middle frequency band utilization, wireless power supply, wireless power transmission, etc.) e. Materials construction f. Line noise (PLC, line noise, etc.) g. Lightning protection (Electrical grounding, electrical insulation, etc.) h. Radiation environment i. Education and diffusion of electromagnetic environment z. Others (Technologies applying electromagnetic wave, etc.)
	8. Heat	<ul style="list-style-type: none"> a. Basis of heat transfer, analysis of heat transfer b. Properties of heat transfer c. Measurement technology d. Weather data e. Thermal insulation f. Thermal shield, solar heat gain g. Heat storage, cool storage h. Evaporative cooling i. Cross ventilation, ventilation j. Air tightness, air infiltration k. Thermal-energy performance of building components and building elements l. Thermal-energy performance of residential buildings m. Thermal-energy performance of non-residential buildings n. Heat load analysis o. Thermal performance evaluation, evaluation indices of thermal environment p. Thermal environment simulation q. Thermal environment of residential buildings r. Thermal environment of non-residential buildings s. Outdoor and semi-outdoor thermal environment z. Others

	9. Moisture	<ul style="list-style-type: none"> a. Heat and moisture transfer theory, method of analysis b. Moisture property c. Mass transfer (Salt etc.) d. Moisture absorption and desorption, moisture buffering e. Condensation f. Moisture-proof g. Measurement technique h. Precipitation, waterproof i. Frost damage, salt damage j. Mould, microorganism k. Moisture damage l. Greening m. Evaporative cooling n. Moisture control apparatus o. Human body and health p. Conservation of cultural properties, environment for preservation z. Others
	10. Thermal Sensation	<ul style="list-style-type: none"> a. Thermal environmental factor and index b. Thermal sensation and response of human c. Thermal comfort zone and acceptable range d. Human thermal model e. Evaluation and measurement methods for thermal environment f. Residential building g. Non-residential building (Office, school, etc.) h. Thermally asymmetrical space i. Outdoor and semi-outdoor space j. Sleep and bed climate k. Bathing environment l. Human behavior and energy conservation z. Others
	11. Passive and Bio-climatic Architecture (Thermal Environment Design)	<ul style="list-style-type: none"> a. Bioclimatic architectures (Technology of vernacular architectures) b. Natural exergy, natural energy c. Passive and bioclimatic design (Radiation, solar and sky radiation, ground heat) d. Passive and bioclimatic design (Ventilation) e. Passive and bioclimatic design (Daylight) f. Zero Energy Building (ZEB), Zero Energy House (ZEH) g. Facade, building envelope design (Double skin, green buildings, others) h. Environmental renovation and management i. Integrating passive and active technologies, IoT and AI technologies j. Utilization of regional resources, material cycle (Biomass, wood, others) k. Evaluation of building environmental performance l. Operation, lifestyle, and behavior m. Thermal adaptation, adaptive model n. Education for built environmental design o. Education for living environment z. Others
	12. Fundamentals of Air Movement	<ul style="list-style-type: none"> a. Measuring, experimental method of air flow, ventilation rate b. Field measuring method of air flow, ventilation rate c. CFD analysis method of indoor air flow d. CFD analysis method of outdoor air flow e. Numerical analysis method such as airflow network calculation f. Evaluation method by ventilation, air conditioning efficiency indices g. Modelling of diffused air, thermal plume h. Modelling of natural ventilation, cross-ventilation z. Others
	13. Applications of Air Movement	<ul style="list-style-type: none"> a. Air flow around human body b. Indoor air flow c. Air flow around buildings and in urban areas d. Residential ventilation and air conditioning e. Ventilation and air conditioning of residential kitchen f. Ventilation and air conditioning of offices g. Ventilation and air conditioning of schools and hospitals h. Industrial ventilation and air conditioning i. Ventilation and air conditioning of large spaces j. Ventilation and air conditioning of unoccupied spaces k. Residential natural ventilation and cross-ventilation l. Natural and hybrid ventilation of offices m. Control of air flow and ventilation n. Air tightness and infiltration o. Smoke flow z. Others
	14. Fundamentals of Indoor Air Quality	<ul style="list-style-type: none"> a. Measuring and experimental method of air quality b. Field measuring method of air quality c. Numerical analysis method of air quality d. Air quality standard and required ventilation rate e. Evaluation method of air environment (Including intellectual productivity) z. Others

	15. Applications of Indoor Air Quality	<ul style="list-style-type: none"> a. Field survey of air quality b. Air pollution by gaseous matter and its control c. Air pollution by particulate matter and its control d. Air pollution by chemical contaminants and its control e. Air pollution by virus and microbes and its control f. Air pollution by odor and its control g. Complex air pollution and its control h. Evaluation method of air environment (Including intellectual productivity) i. Air pollution by HVAC systems j. Air pollution by natural and hybrid ventilation k. Contamination control of cleanrooms z. Others
	16. Water Environment and Plumbing System	<ul style="list-style-type: none"> a. Waterfront, waterside amenity b. Water and green c. Rainwater harvesting d. Water quality control e. Cold and hot water use f. Wet area g. Water supply system h. Hot water supply system i. Piping system j. Sanitary appliances k. Drainage system l. Waste water treatment, waste water reuse m. Waste, biomass n. Diagnosis, renewal o. Life continuity plan, business continuity plan z. Others
	17. HVAC System	<ul style="list-style-type: none"> a. HVAC equipment b. Heating equipment c. Air diffuser and inlet d. Air distribution e. Radiant heating and cooling f. Individual air-conditioning g. Humidification and dehumidification h. Perimeter air-conditioning i. Task and ambient air-conditioning j. Ventilation k. Control system l. Thermal environment and IAQ m. Field survey n. Heat load calculation o. System simulation p. Numerical analysis of HVAC system q. Energy conservation r. Planning of HVAC system s. Design of HVAC system t. New technology z. Others
	18. Heat Source System	<ul style="list-style-type: none"> a. Heat source equipment b. Heat distribution c. Heat storage d. Cogeneration e. Fuel cell f. Heat source control g. Field survey h. System simulation i. Energy conservation j. Unused energy utilization k. New energy utilization l. Waste heat utilization m. Planning of heat source system n. Design of heat source system o. New technologies z. Others

	19. Applied Building Service	<ul style="list-style-type: none"> a. Residential building b. Commercial building c. Laboratory, factory, data center d. Large space building e. Façade engineering f. Building integrated equipment g. Natural energy utilization h. ZEB, ZEH i. Performance assessment i. Environmental impact assessment k. Commissioning l. BEMS m. Cost analysis n. Productivity o. Simulation tool p. Maintenance q. Renewal, conversion, ESCO r. Education s. Design and construction of equipment system t. Smart grid u. Climatic design conditions v. Human factor w. Other facilities x. IoT, AI z. Others
	20. Urban Environment, Urban Infrastructure	<ul style="list-style-type: none"> a. Urban environmental and infrastructure planning b. Energy and water consumption of buildings and cities c. Energy management system (EMS) d. Regional energy system, Smart energy network e. Unused energy, renewable energy utilization f. Environmentally conscious city, low carbon city g. Smart city, smart community h. Spatial data utilization technology (GIS, remote sensing) i. Urban disaster prevention and reduction, BCP · DCP j. Urban climate measurement k. Urban climate simulation l. Micro climate in outdoor spaces m. Green and water in urban spaces n. Mitigation of urban heat island o. Adaptation for thermal environment p. Human physiology and psychology in outdoor spaces q. Wind environment in urban spaces r. Cool roof and pavement z. Others
	21. Environmental Design	<ul style="list-style-type: none"> a. Housing, building environmental design b. Regional environmental design c. City environmental design d. Design standard e. Design technologies (Process, VR, BIM etc.) f. Environmental performance assessment g. Comprehensive, multiple environmental assessment h. Environmental labeling (CASBEE etc.) i. Environmental-friendly actions j. Health k. Environmental barrier-free, universal design l. Lifestyle, way of living m. Energy consumptions n. Co-benefits, multi-benefits o. Environmental education p. Environmental retrofit, renovation q. Citizen participation, public involvement r. Buildings for hot and humid climate s. Buildings for cold climate z. Others
	22. Sustainable Environment	<ul style="list-style-type: none"> a. Environmental materials b. Long-life, high durability c. Recycle, reuse d. Greening, ecosystem, biodiversity e. Timber structure, wood materials f. Timber production, wood distribution g. Lifecycle assessment (LCA) h. Carbon-neutral i. Global warming, climate change j. Biomass k. Recycling society, economy z. Others
	99. Others	

5. Architectural Planning and Design	1. Housing	<ul style="list-style-type: none"> a. Housing theory, history of housing b. Way of dwelling, dwelling, lifestyle c. Condominium, multiple dwelling house, living environment of collective dwelling, settlement d. Urban dwelling, high rise dwelling e. Regional characteristic, tradition f. Living environment of the aged and the handicapped g. Improvement of the house, remodel, renovation and extension, conversion h. Urban district planning, planning of housing area i. Regeneration of housing complex j. Housing supply, housing, housing production k. Management, administration l. Housing policy m. Overseas house, overseas house area n. Others
	2. Facility Planning	<ul style="list-style-type: none"> a. Planning theory of facility in community b. School (Learning and activity) c. School (Space) d. Community center e. Theater and hall f. Museum g. Library and social education facility h. Sports and recreation facility i. Hospital (Ward) j. Hospital (Outpatient area) k. Nursing home for the elderly l. Day care facility for the elderly m. Facility for the disabled n. Facility for children and nursery o. Shop and office p. Complex, share and conversion q. Others
	3. Fundamental Theories in Planning and Design	<ul style="list-style-type: none"> a. Scale, size, volume, capacity and site planning b. Safety planning, evacuation, disaster prevention, building related accident c. Spatial composition and structure of architecture, townscape and landscape d. Design method, theory and process e. Design knowledge, information, support system and database f. Facility management, post-occupancy evaluation and facility programming g. Scale, size and design standard of facilities, equipment and furniture h. Measure of human body, activity dimension i. Features of motion j. Behavioral characteristics, crowd movement k. Environmental psychology, environmental behavior, wayfinding l. Mode of being, mode of usage m. Space sensation, space perception, space cognition n. Barrier-free, universal design and environment normalization o. Information environment, interface p. Others
	4. Building Construction Planning	<ul style="list-style-type: none"> a. Theory of building system (Modular coordination, building element theory, systematization of building construction) b. Development of structure system, development of construction method c. Construction method for improvement (Renovation, remodeling, conversion) d. Timber construction system e. Transition of building system f. Traditional construction method, vernacular construction method g. Building system design and production/supply system h. Open building and building system design i. Computational design and building system design j. Others
	5. Planning and Design	<ul style="list-style-type: none"> a. Architectural planning and design theory b. Regional planning and design theory c. Planning and design history d. Community development (Regional revitalization, urban regeneration), community planning e. Reorganization and relocation of facilities f. Building project planning, project management g. Community participation, collaboration h. Design organization i. Design profession, qualification system j. Design education k. Building regulation l. Others
	99. Others	

6. Rural Planning and Design	1. 計画基礎・計画論・地域構造	a. 計画・設計論 b. 田園空間・ラーバンデザイン論 c. 地域構造論 d. 農山漁村計画 e. 国土・広域計画 f. 国土利用・土地利用 g. その他
	2. 住居・生活文化	a. 住様式・住文化 b. 住居空間・デザイン c. 家族・生活構造・ライフスタイル d. リノベーション・空き家活用 e. その他
	3. 集落・集住文化	a. 集落空間 b. 集落居住 c. 地域社会・文化 d. なりわい e. その他
	4. 景観・環境デザイン	a. ルーラルデザイン b. 景観論・風土論 c. 集落・自然景観 d. 景観法・制度・計画 e. 環境資源・環境資産 f. エコシステム g. その他
	5. 地域づくり・地域組織	a. 自治組織・コミュニティ b. NPO・パートナーシップ・協働 c. 制度・手法・計画プロセス d. 住民参加・ワークショップ e. UJI ターン・移住 f. 都市・農村交流・観光 g. その他
	6. 地域施設計画	a. 新設整備・施設再編・再配置・施設複合化 b. 施設保全・利活用・共用・転用 c. その他
	7. 地域包括システム	a. 地域包括ケア b. 高齢者 c. こども d. 障がい e. 交通・モビリティ f. 生活支援 g. 医療・保健 h. その他
	8. 防災・災害復興	a. 災害史 b. 防災 c. 災害実態・避難 d. 復旧 e. 復興 f. 災害支援 g. その他
	99. その他	
7. Urban Planning and Design	1. 都市論と都市形成史	a. 都市論 b. 都市計画論 c. 都市形成史・都市計画史 d. その他
	2. 都市像と計画	a. マスタープラン b. 都市圏 c. 土地利用 d. 基幹施設 e. 交通 f. 海外都市計画 g. キャンパス計画 h. その他
	3. 市街地変容と都市・地域の再生	a. 市街地整備・新市街地 b. 再開発 c. 商業地・商業空間 d. 中心市街地 e. 都市再生 f. 街なか再生・街なか居住 g. 都市経営 h. 観光 i. その他
	4. 地区とコミュニティ	a. 住環境 b. 都心居住 c. 地区計画 d. 地区施設 e. 高齢者・福祉 f. その他
	5. 都市環境と防災	a. 環境管理 b. 環境アセスメント c. 地球環境 d. 災害事前対策 e. 災害調査 f. 復旧・復興 g. 防災システム h. その他
	6. 景観と都市デザイン	a. 都市デザイン b. 景観論 c. 景観イメージ・景観評価 d. 景観計画・景観整備 e. 景観管理・まちなみ f. 歴史的景観 g. 自然・緑地 h. 街路・公共空間 i. 空地 j. その他
	7. 制度と行政	a. 都市計画制度 b. 規制・誘導 c. 整備・開発の事業 d. 行政組織 e. その他
	8. 参加と組織	a. 住民参加 b. ワークショップ c. NPO d. プロセス e. まちづくり学習 f. その他
	9. 教育と資格	a. 都市計画・設計教育 b. 資格 c. その他
	10. 調査・評価と計画支援	a. 都市調査・都市解析 b. GIS/CAD/CG c. インターネット d. シミュレーション e. その他
99. その他		
8. Architectural System and Management	1. Architecture System and Management	a. Statistics and information (Statistics making, statistics document analysis, market analysis, information system) b. Policy and society (Social system, political measures, environmental problems, resource circulation, globalization) c. Industry (Construction industry management, construction industry model, structure of construction industry) d. Human resources (Qualifications, professional ability, labour problems, education) e. Management theory (Construction management, regional management, facility management, asset management, business continuity management) f. Others
	2. Housing	a. Housing conditions, housing problem b. Housing policy, housing program, regional housing plans c. Resident, dweller's demand, dwelling life d. Housing supply, housing market, housing economics e. Housing standard, housing performance, housing quality f. Housing management, maintenance, renovation, housing stock measures g. Organization for housing and community, community development h. Housing support, housing education, housing welfare i. Safety and security in housing j. Residential area, residential districts, area structure k. Others
	3. Building Production and Construction	a. General issue of building production and construction b. Planning/programming c. Contracting and project delivery system d. Design, engineering and supervision e. Site management f. Construction technology and system g. Management technology and system h. Production and construction cost i. Human resources and construction skills j. Others
	4. Building and Property Stock	a. Business scheme, finance b. Facility management, property management, building renovation c. Building evaluation, estimation and appraisal d. Others

	99. Others	
9. History and Theory of Architecture	1. History of Japanese architecture 2. History of Japanese modern architecture 3. History of oriental architecture 4. History of western architecture 5. History of western modern architecture 6. Architectural theory 7. Design theory 8. Urban history 9. Conservation (Theory, technique, archive) 99.Others	
10. Marine Architecture	1. Planning and Design	a. Land utilization and spatial planning b. Facility planning, design and unit requirement c. Landscape planning, evaluation and design d. Case study and report of project e. Safety, prevention and evacuation planning f. Social and/or legal system g. History, preservation and cultural evaluation h. Resort and recreation z. Others
	2. Environment	a. Environmental measurement, estimation and analysis b. Natural restoration, create and symbiosis c. Residential environment research and planning d. Renewable energy z. Others
	3. Structure	a. Marine structural planning and design b. Evaluation of seakeeping and validation c. Information and prediction natural environment and environmental loads d. Motion of floating body (including hydrodynamic force and mooring force) e. Hydroelasticity (including VLFS and shell structure) f. Support and positioning systems (fixed, pile, pier, anchor and sinker) g. Case study h. Optimization, identification and control z. Others
	4. Material and Construction	a. Material property b. Water resistance and durability c. Construction plan d. Construction technology z. Others
	5. Maintenance and Management	a. Maintenance and management b. Removal and reuse plan z. Others
	6. Tsunami	a. Load b. Design c. Evacuation d. Facilities e. Investigation f. Recovery and reconstruction g. Countermeasures z. Others
	99. Others	
11. Information Systems Technology	1. Systematization technology 2. Design system/CAD/BIM 3. Production information system 4. FM system 5. Graphic processing/image processing 6. Numerical analysis/simulation/mathematical planning/mathematical statistics 7. Intelligent system/soft computing/AI 8. Control/robot 9. Sensing/monitoring/IoT 10. Complex system 11. Algorithmic design 12. Sensibility engineering 13. Design science 14. Database 15. GIS 16. Environment/global environment 17. Education system 18. Collaboration 19. City/region 20. Landscape 21. Human science 22. Disaster prevention 99. Others	
13. Architectural Education	1. Special Education	a. 設計教育 b. 環境教育 c. 構造教育 d. 材料・構法教育 e. 歴史・保存再生教育 f. 都市計画・まちづくり教育 g. 防災教育 h. 住教育 i. ものづくり・技能教育 j. 倫理教育 k. マネジメント教育 l. 分野融合型教育 m. その他

	2. Education for Specific Target	a. 大学院教育 b. 初学者教育 c. 企業内教育 d. 継続教育・CPD e. 工業高校・工専の教育 f. 市民教育 g. 子ども教育 h. 初等教育・中等教育 i. その他
	3. Educational Methods	a. 国際ワークショップ b. コラボレーション c. e-learning・通信教育 d. 情報教育 (CAD、BIM など) e. 体験型授業・実践教育・PBL (プロジェクト・ベースド・ラーニング、プロブレム・ベースド・ラーニング) f. スタジオ教育 g. 教材 h. その他
	4. Education System and Qualification	a. 教育制度 b. 海外の教育 c. インターンシップ d. 資格と教育 e. その他
	99. Others	